

新聞に見る静岡大学 2013年度

種別表示 ● 教育・学生 ■ 研究 ◆ 地域連携・社会貢献 ▲ その他(管理運営等)

(内容によっては、表示以外の種別にも関連のある場合もあります。)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
▲	『サイエンスブックカフェ～研究者の本棚～④』サイモン・シン著「ビッグバン宇宙論」 静岡大理学部物理学科 土屋麻人准教授	(3/31静岡)
◆	歴史特別講座「徳川家康大御所時代の駿府と清水」で戦国時代研究の第一人者である小和田哲男静岡大名誉教授が講演 家康時代からの駿府と清水の発展について住民200人が聞いた	(3/30中日)
◆	静岡大学と国立遺伝学研究所は28日までに研究者の交流や人材育成の促進などで包括連携協定を締結した。「連携によって地域に貢献できる人材を育てたい」と伊東幸宏学長。	(3/29日経)
●	国立大入試追加募集で静岡大人文社会科学部は13人を募集する	(3/29静岡)
▲	『大御所の遺産探し』5「足跡を照らす」⑤浜松八幡宮の徳川家康が隠れたという「雲立の桶」のエピソードやそれ以後家康が「家臣は宝」と考え改めた話など 静岡大名誉教授小和田哲男	(3/29静岡)
●	静岡県教育委員会は2014年度から県内の高校と大学が専門知識を高め、産業を担う人材に育成するため連携する 県内外の大学教員を招き高校生向け講座をそれぞれ4日間ずつ開く	(3/29日経)
◆	「ふじのくに地域・大学コンソーシアム」が県内全23の高等教育機関や県、や県内12誌など38機関の連携で設立総会を開いた 伊東幸宏静岡大学長が初代理事長に就いた	(3/28静岡、3/29朝日)
◆	静岡大で博物館学を履修する学生のボランティア(8名)が登呂博物館で展示解説や展示クイズなどを作成して学芸員と教育普及に取り組んでいる 活動は月2回程度	(3/28静岡、3/31中日)
▲	『時評』ウクライナ南部クリミア半島のタタール人はロシア革命以降日本にも2千人程が亡命しておりその知識人たちは近代日本と深く関わってきている 静岡大人文社会科学部 楊海英教授	(3/27静岡)
●	文部科学省は2014年度国立大入試で、静岡大など計5校が欠員補充による追加募集を実施すると発表。静岡大は教育学部で5人を募集。人文社会科学部も実施はするが人数が決まっていない	(3/25静岡、3/27静岡、中日)
◆	附属静岡小3年の鈴木夢叶君らが静岡浅間神社の廿日会祭に向けて稚児舞楽の所作を学ぶため初稽古に臨んだ	(3/25静岡)
◆	静岡空港テーマにした資料、静岡県史「空港編」が県史編さん事業専門委員の山本義彦静岡大名誉教授らにより刊行された B5版1001頁 1部7000円	(3/25静岡)
◆	静岡大は三島市の国立遺伝学研究所と研究での連携や人材交流を通じて静大大学院生への指導を仰ぐなど教育の充実を図る 27日、同大で締結式を行う	(3/25静岡)
●	静岡大・静岡地区の学位授与式が静岡市葵区の市民文化会館で行われた。約1500人が巣立ち、伊東幸宏学長が「社会では異分野の人と協働して活躍してほしい。」と呼び掛けた	(3/24静岡)
▲	『サイエンスブックカフェ～研究者の本棚～④』佐藤文広著「これだけは知っておきたい数学ビギナーズマニュアル」 静岡大理学部 依岡輝幸准教授	(3/24静岡)
●	「キャンパス新発見」静岡大浜松キャンパス 高柳記念未来技術創造館はテレビの父、高柳健次郎氏の功績をたたえて作られた。学生には学問と技術の繋がりを感じて情熱を継いでほしい。	(3/24静岡)
●	静岡大・浜松キャンパスの学位授与式が中区の市教育文化会館で行われた。約1000人が巣立ち、伊藤幸広学長が、「大いに議論し、チームで活躍してほしい」と告辞を述べた	(3/23中日)
▲	『提言・減災』相模トラフの地震にも適切な防災対策を、南海トラフの防災同様、関係機関で連携して進めていく必要がある、静岡大防災総合センター原田賢治准教授	(3/23静岡)
◆	リニア中央新幹線を考える学習・講演会が駿河区で開かれ、佐藤元学長がリニア計画の及ぼすエコパークなど環境への影響を話した	(3/22中日)
●	岡山県倉敷市で開かれた「全日本アンサンブルコンテスト」に東海支部代表、大学の部として静岡大(サクソフォン四重奏)が出演し、銀賞を獲得した	(3/22中日)
◆	リニア中央新幹線を考える学習・講演会が駿河区で開かれ、佐藤元学長がリニア計画の及ぼすエコパークなど環境への影響を話した	(3/22中日)
▲	静岡大がクラウドコンピューティング新システムの運用を開始	(3/20日経)
●	静岡大附属島田中学校で「卒業を祝う会」開催 生徒有志がバンド演奏や漫才を行って会場を盛り上げる	(3/20静岡)
◆	静岡大で文部科学省事業「イノベーション対話促進プログラム」報告会開催 昨年11月から3月1日にかけて行ったワークショップを通して実現可能なアイデアを検討	(3/20静岡、中日)
●	静岡大や静岡県立大、常葉大の学生でつくる「静岡学習支援ネットワーク」の無償学生支援教室が3年目を迎える	(3/19静岡)
●	静岡大がベトナム、インドなど4か国からの理系アジア留学生を学費免除で受け入れ 2016年春入学から受け入れ開始	(3/18日経)
◆	伊豆半島ジオパーク、国内審査突破へ向けた挑戦始まる 伊豆半島ジオパーク推進協議会顧問の静岡大防災総合センター小山真人教授が認定の見通しや課題を語る	(3/18静岡)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
◆	「ふじのくに防災士養成講座」など県民向け防災教育講座・研修にシラバス作成 静岡大防災総合センター牛山素行教授は、自治体として先駆的と評価	(3/17静岡)
▲	『災害大国 あすへの備え』津波防災地域づくり法をめぐる国と自治体の議論 静岡大防災総合センター牛山素行教授は、住民の当事者意識向上につながる語る	(3/17朝日)
▲	『サイエンスブックカフェ～研究者の本棚～③』佐巻建男、田中陵二著「よくわかる元素図鑑」 静岡大理学部坂本健吉教授	(3/17静岡)
◆	しずおか防災コンソーシアム主催「ふじのくに防災学講座」開催 静岡大土屋智教授が2013年浜松市天竜区春野町と伊豆大島で発生した土砂災害について解説	(3/16静岡)
◆	「ふじのくに防災フェロー養成講座」開催 静岡大防災総合センターの牛山素行教授などが基調講演を行い、職員向け講座の意義を説く	(3/16静岡)
●	静岡銀行が「アジア留学生奨学金制度」3期生認定証授与式開催 静岡大、静岡県立大など県内6大学アジア留学生10人に月額10万円支給	(3/15静岡)
▲	東海学生サッカーリーグ1部の静岡大監督にJ1清水などで監督を務めた行徳浩二氏が就任	(3/15静岡)
▲	浜松城公園の活用を考える市民フォーラム開催 静岡大小和田哲男名誉教授の講演会やNPO法人代表者による意見交換が行われ、160人が参加	(3/14中日)
◆	静岡大とNTT西日本が大規模災害時の電子データ喪失リスク軽減のため「クラウドコンピューティング」を再構築、新システムの運用を発表	(3/14静岡、中日)
▲	文部科学省が国公立大2次試験後期日程の欠席率発表 静岡大は59.9%	(3/13静岡)
▲	静岡大一般入試後期日程で前期日程に続き出題ミス	(3/13読売、3/14静岡、中日)
▲	多くのモンゴル族が虐殺された文化大革命の実態究明を行う静岡大の楊海英教授、真相を解明し和解を可能にしたいと自らの研究の意義を語る	(3/12中日)
▲	県近代史研究会が3月例会開催予定 静岡大教育学部4年永井咲季さん、同大人文社会科学部4年蟹江卓弥さんなどが報告予定	(3/11静岡)
▲	しずおか防災コンソーシアムが「ふじのくに防災学講座」開催予定 静岡大土屋智教授が講師を務め、土砂災害の現地調査を報告する	(3/11静岡)
●	島田市が2013年度スポーツ賞表彰式開催 静岡大附属島田中2年金沢一平さん、同中3年大塚美乃里さんが個人の部受賞	(3/10静岡)
▲	『サイエンスブックカフェ～研究者の本棚～②』 トム・ウェイクフォード著「共生という生き方」静岡大理学部地球科学科加藤憲二教授	(3/10静岡)
▲	『命を守る 教育2014』 静岡大教育学部3年大森拓未さんが同大附属幼稚園で紙芝居を読み聞かせ、防災道徳の授業に取り組む	(3/9日経)
■	静岡大工学研究所電子工学研究所香川景一郎准教授が次世代内視鏡の要素技術を開発 小型のマルチレンズカメラを活用してがん検診などへの応用が期待される	(3/8静岡、3/11日経)
◆	和田秀樹静岡大教授が会長を務める県環境影響評価審査会が川勝平太知事にJR東海リニア中央新幹線計画環境影響評価準備書に対する意見を答申	(3/7静岡)
▲	静岡大浜松キャンパスで「認知症ケア」テーマの講演会予定 同大情報学部石川翔吾助教が参加呼びかけ	(3/7中日)
▲	浜松市主催「これからの浜松城公園を考える市民フォーラム」開催予定 小和田哲男静岡大名誉教授の講演、パネルディスカッションなど予定	(3/7毎日)
▲	静岡大一般入試前期日程で、物理の問題訂正 同大石井潔副学長などが謝罪	(3/5静岡、朝日、毎日、中日、読売)
●	静岡大や静岡県立大の学生が、里山の竹林を資源として活用「チクリンピック」プロジェクトを提案 2020年東京オリンピックに合わせて開催目指す	(3/5静岡)
◆	静岡大と県内市町村やNPOが進める「地域課題解決支援プロジェクト」本格始動 テーマの公募に自治体など28件寄せられる	(3/3静岡)
▲	『おもしろ農学』静岡大研究室から 静岡大農学研究科小谷真也助教 食品を発酵させ、薬の成分も生産する微生物	(3/2静岡)
●	『静岡の学力』教師力を高める 中 静岡大の模擬授業サークル「飛翔」	(3/2静岡)
▲	地方法科大学院存続に支援要請 県弁護士会は静岡大法科大学院が現在模索している島根大大学院法務研究科との連携支援を表明	(3/1静岡)
●	『静岡の学力』教師力を高める 上 静岡式35人学級について静岡大教育学部村山功教授が忠告	(3/1静岡)
▲	静岡大一般入試前期日程2次試験で出題ミス	(3/1読売)
◆	第7回メディカルイノベーションフォーラム開催 浜松医科大、静岡大、光産業創成大学院大などの関係者がパネル討論など行う	(2/28静岡、中日)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
●	全国の学生が東日本大震災被災地で支援活動を行う「きっかけバス47」、静岡県チームが岩手県陸前高田市に到着 静岡大、浜松医科大学などの学生44人が地元NPOの活動に加わる	(2/27中日)
◆	下田市で安政東海地震によると思われる「津波石」が見つかる 静岡大北村晃寿教授らの調査で判明	(2/27静岡)
▲	『時評』静岡大防災総合センター副センター長牛山素行教授 「すべきだ」防災ではなく、個人でできることから行動を	(2/27静岡)
▲	平成26年度入試前期日程2次試験、静岡大が物理の問題訂正	(2/26静岡、中日)
▲	国公立大2次試験終了 県内の欠席者は静岡大274人(欠席率9.4%)、浜松医科大学67人(同12.6%)静岡県立大93人(同9.6%)、静岡文化芸術大67人(同7.7%)	(2/26静岡、毎日、朝日)
▲	静岡大、静岡県立大の2次試験 回答と解説 佐鳴予備校が英語、国語、数学の解説	(2/26静岡)
▲	国公立大2次試験の前期日程が始まる 静岡大、静岡県立大など県内でも4大学で2次試験開始	(2/25静岡、中日、朝日)
▲	中教審法科大学院特別委員会が2013年度調査、静岡大に「継続的な改善」要求	(2/25静岡、日経)
●	静岡大附属静岡小1971年度卒業生が同窓会で卒業記念タイムカプセルと42年ぶりに再開	(2/25静岡)
●	山崎自然科学教育振興会が第30回山崎賞授賞式を開催 静岡大附属浜松中1年の笹原薫さんなど79件が表彰される	(2/25静岡)
▲	全国44国立教員養成大学・学部卒業生の教員就職率、前年より0.3ポイント下がり61.3% 静岡大は62.2%で前年を1.6ポイント上回る	(2/23静岡)
●	第37回蘇峰会県書道展の入賞決定 駿府博物館長賞に静岡大附属浜松小6年の城内康徳さん、奨励賞に静岡大附属島田中1年の兼岩奈央さん	(2/22静岡)
◆	浜松市南区の特別支援学校で地震や津波への対策を考える防災シンポジウム開催 静岡大の原田賢治准教授など関係者が意見交換	(2/22中日)
●	全国47都道府県の学生が東日本大震災被災地で支援活動を行う「きっかけバス47」が25日に出発 県内からは代表の静岡大情報学部仁田直人さんをはじめ、44人が集まる	(2/22静岡)
●	静岡大教育学部美術科と大学院教育学研究科美術教育専修の卒業・修了制作展開催 46点の造形作品や水彩画を展示	(2/21中日)
▲	吉田町が新年度津波防災まちづくりの継承と教育に力を入れたラーニングプラン事業などを予算案に盛り込む 静岡大教育学部と連携して独自評価テストなどを予定	(2/21中日)
▲	SBS学苑講師の平形精一静岡大名誉教授に師事する書道愛好グループが第12回午書展開催	(2/21静岡)
▲	県内幼稚園や小学校でインフルエンザに感染したとみられる患者が多数発生 静岡大附属静岡小など46施設で学年閉鎖や学級閉鎖	(2/19、21静岡)
◆	静岡大教育学部と静岡ユネスコ協会がユネスコスクール研修会開催 教育関係者など50人が参加、教育現場の取り組みなどが発表される	(2/19中日、2/20静岡)
■	静岡大学農学部が農業環境リーダー認定報告会「大学生が感じた中山間地域」を開催予定	(2/19静岡)
●	静岡大附属浜松中学校2年の太田成美さんが今春ヨルダン国内難民キャンプに派遣される NPO法人国境なき子どもたち主催「友情レポーター」として取材や報告会を行う予定	(2/18中日)
●	静岡大と常葉大の教員を志望する学生25人が「子どもわくわく講座」を開催 百人一首やゲームを企画、遊びを通して子どもの活躍の場を作る	(2/18静岡)
▲	袋井市内徳川家康ゆかりの地を巡るバスツアー開催 小和田哲男静岡大名誉教授が講師を務め、地元領主久野一族や高天神城の戦いなどについて解説	(2/17中日)
▲	『備える 3.11から』静岡大教育学部藤井基貴准教授が取り組む、道徳の観点を取り入れた防災授業案や教材作り	(2/17中日)
▲	静岡大教育学部伊藤富夫教授が最終講義を行う 「カプトガニと私」と題してこれまでの研究を振り返る	(2/16静岡)
▲	小和田哲男静岡大名誉教授が講演会「徳川家康 大御所時代の駿府と清水」開催予定	(2/14静岡)
●	静岡大教育学部卒業生の彫刻家丸山成美さんの木彫展「小さな彫刻展－森へ行こう」開催	(2/14静岡)
◆	静岡大農学部藤枝フィールドと同日イタリア料理店「NORI」がバレンタインデーに向けて同フィールドのキンカンを使ったチョコレートとパウンドケーキを開発	(2/12静岡)
▲	『この人』伊豆大島などの土砂災害研究を行っている静岡大農学部教授の土屋智さん	(2/12静岡)
●	静岡大、静岡文化芸術大などの学生が中心のNPO団体「スポーツサポートとうかい」が東日本大震災から3年の被災地支援について意見交換行う	(2/12静岡)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
▲	静岡大本多隆成名誉教授が浜松市地域情報センターで三方原合戦について講演	(2/10中日)
◆	静岡大など県内大学が取り組む障害のある社会人を対象にした講座「大学で学ぼう」公開フォーラム開催 大学生や障害者らが講義を受講	(2/10静岡)
●	第40回東海アンサンブルコンテスト、県内からは静岡大サクソフォン四重奏と浜松市立開成中金管八重奏が代表に選出	(2/9朝日)
▲	『静岡発こう読む』割烹着のリケジョ・小保方晴子さん、世紀の大発見「新万能細胞作製に新手法」 静岡大大学院情報学研究科笹原恵教授	(2/9中日)
●	第359回全国珠算教育連盟段位検定試験 暗算5段に静岡大附属静岡小5年片山愛理さんが合格	(2/8静岡)
◆	富士山火山防災対策協議会が富士山噴火時の広域避難計画まとめる 静岡大小山真人教授ら専門家が火山噴火のイメージを持つことを市民らに訴える	(2/7朝日)
◆	静岡市清水区で「平家物語」について学ぶ文学講座開催 静岡大人文社会科学部大洋和俊非常勤講師が「平維盛の生涯」をテーマに解説を行う	(2/7静岡)
◆	静岡大教育学部が学生による学校支援ボランティアをテーマにシンポジウムを開催 学生と市内教職員が意見交換、ボランティアの在り方について探る	(2/7静岡)
▲	県立静岡北特別支援学校安倍分教室が本年度末で閉校 静岡大教育学部大塚玲教授は環境の変化に敏感な子どもたちへの配慮が必要と語る	(2/6静岡)
◆	牧之原市が第2次総合計画市民全体会議開催 静岡大日詰一幸教授が地方自治体での総合計画の在り方や課題を解決する手段について講演、約200人が聴講	(2/6静岡)
▲	文部科学省が5日締め切りの国公立大2次試験志願状況を発表 静岡大平均は4.0倍、志願者数等、20日に確定する予定	(2/6静岡、毎日、読売、中日、朝日、日経)
▲	静岡県内幼・小・中計59施設で集団風邪発生 静岡大附属静岡小など学級閉鎖	(2/5静岡)
◆	静岡市教委が市立小中学校教諭向け算数・数学の学力向上研修開催 静岡大教育学部裕元新一郎教授が授業改善のポイントを解説	(2/5静岡)
▲	歴史学者の小和田哲男静岡大名名誉教授が講演会「家康の遠州入りと井伊谷」を開催	(2/4静岡)
◆	静岡県が教育連携推進 県内高校生が静岡大、県立大、文化芸術大などで講座受講や研究活動を行う新事業を展開予定	(2/4静岡、読売、2/6中日)
◆	静岡大と中日新聞の連携講座「世界文化遺産富士山を考える」最終回開催 同大人文社会科学部湯之上隆教授が「霊峰富士の宗教文化史」と題して講演	(2/2中日)
▲	『おもしろ農学』静岡大研究室から 静岡大農学研究科茶山和敏准教授 乳児を病気から守る、母乳に含まれる免疫タンパク質について	(2/2静岡)
▲	国公立大2次試験倍率中間集計発表 静岡大や静岡県立大など県内国公立大学の出願状況発表	(2/1静岡、朝日)
◆	全国治水砂防協会などが「市町村職員土砂災害対策研修会」開催 静岡大農学部土屋智教授が約100人の自治体職員を前に講演	(2/1静岡)
▲	静岡大大学院人文社会科学研究科磯田雄二郎教授が最終講義を行う 専門のサイコドラマの魅力について語る	(2/1静岡)
◆	静岡大と久能山東照宮が文化財や環境保全に関する連携協定を締結 文化財や境内周辺植生に関する調査・研究などで相互協力	(2/1日経)
■	久能山東照宮が、徳川家康がスペイン国王から贈られた国指定重要文化財「洋時計」の非破壊検査を静岡大に依頼	(2/1静岡)
◆	静岡大・中日新聞の連携講座「世界文化遺産富士山を考える」最終回に先立ち、「霊峰富士の宗教文化」をテーマに講演を行う同大人文社会科学部湯之上隆教授が日本文化での富士山の重要度について語る	(1/29中日)
▲	『時評』 静岡大楊海英教授 中国ウイグル族学者の拘束にみる少数民族の弾圧	(1/29静岡)
●	NPO法人「静岡時代」が「大学生のための消費生活向上ハンドブック」を県と共同で作製 作製スタッフで静岡大大学院人文社会科学研究科1年鈴木智子さんなどが自信を見せる	(1/28毎日)
■	静岡大教育学部がシンポジウム「『成長し続ける教師』と静岡の教育」開催 県内外の教育関係者150人が聴講	(1/28静岡)
◆	ポストドクター就職をサポートする静岡大「博士キャリア開発支援センター」開所から1年 担当教員がポストドク支援について語る	(1/27静岡)
■	静岡大教育学部主催の公開シンポジウム「静岡の教育WO語る」開催 文部科学省佐藤弘教員養成企画室長や武井敦史同大教授などが報告を行う	(1/26中日)
◆	しずおか防災コンソーシアム主催「ふじのくに防災学講座」開催 静岡大防災総合センター安藤雅考特任教授が講演を行う	(1/26静岡)
▲	県が全国学力調査に対応した独自模擬テストを検討すると示したことについて、県教委学力推進協議会の村山功静岡大教授は「まずは学力調査の活用を」と提案	(1/25朝日)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
▲	「徳川みらい学会」が古文書読解・解説企画開催 本多隆成静岡大名誉教授が講師を務め、書状2通の解説を行う	(1/25静岡)
▲	静岡市清水区の「清水平成政経塾」1月定例会開催 小和田哲男静岡大名誉教授が「経営トップに必要なナンバー2」と題して講演	(1/24静岡)
■	静岡大で学内の優れた教員「卓越研究者」第2期メンバーの称号授与式開催	(1/24静岡)、(中日)
▲	平成25年度文部科学大臣優秀教職員賞に静岡大附属浜松小学校の平野直孝さん	(1/23静岡)
▲	県内の幼稚園や小中学校で集団風邪による学年閉鎖 静岡大附属島田中など計34施設	(1/23、24静岡)
▲	『経済スポット』静岡大の合同企業説明会 同大宇賀田栄次特任教授が今どきの就活事情について解説・助言	(1/23静岡)
◆	2015年徳川家康公顕彰400年を前に、静岡大が久能山東照宮と文化財・環境保全の連携協定を締結予定 同大伊東学長は顕彰400年を盛り上げたいとコメント	(1/23静岡)
◆	南海トラフ巨大地震の津波被害を想定し、浜松江之島高校で静岡大防災総合センター原田賢治准教授が津波への対策や心構えを指導	(1/22中日)
■	静岡大が「卓越研究者」第2期メンバー22人を公表、同大静岡キャンパスで称号授与式を挙げる	(1/22静岡)
▲	2015年徳川家康公顕彰400年に向け「平成の"徳川家臣団"大会in駿府」の参加者募集 小和田哲男静岡大名誉教授の基調講演やパネルディスカッションなどを予定	(1/21静岡)
▲	『工学部を目指す君たちへのメッセージ』 静岡大工学部佐古猛学部長が受験生へメッセージを送る	(1/20読売)
▲	大学入試センター試験が始まる 県内では静岡大など21会場で実施	(1/18中日、1/19毎日、1/20朝日)
▲	静岡大工学部が一般入試前期日程成績優秀者5人に奨学金25万を贈ると発表	(1/18中日、1/22静岡、1/25毎日)
◆	JR東海リニア中央新幹線のトンネル残土処分地2カ所について、狩野謙一静岡大特任教授が「適地でない」と分析	(1/16静岡)
■	静岡大人文社会科学部小田誠二教授が代表を務める静岡茶共同研究会がお茶の百科事典「オール・アバウト・ティー」をテーマにした公開勉強会を開催予定	(1/15静岡)
●	木村雅和静岡大副学長がチーム長を務める浜松・東三河地域イノベーション戦略推進協議会がシンポジウム「浜松のこれからの教育を考える」開催	(1/15日経)
▲	『この人』元静岡大文学部教授で川根本町教育長に就任した大橋慶士さん	(1/15静岡)
●	県立大で結成し、静大生など県内の学生でつくる模擬政党「静岡わかもの党」が「わかものパレード」計画 同世代や大人たちとの交流の輪を広げる目的	(1/15静岡)
▲	JR東海リニア中央新幹線環境影響評価準備書について、静岡市の専門家会議岩堀恵裕会長と静岡大名誉教授の佐藤博明副会長が市町に答申行う	(1/14静岡)
●	「静岡浅間神社新春奉納書道展」表彰式開催 静岡市長賞に静岡大附属静岡幼稚園年長の見城奈々子さん、静岡市教育長賞に静岡大附属静岡中3年の鈴木史竜さんが入選	(1/14静岡)
▲	県が県内全市町に幹部職員を派遣する方針固める 静岡大日詰一幸教授は行政力を一体的に向上させる点で有意義であると意見を述べる	(1/14静岡)
▲	文部科学省が発表した「英語教育改革実施計画」について、専門家3人が見通しや課題を語る 静岡大臼畑知彦教授は週1時間の授業での習得は難しいとの見解述べる	(1/13毎日)
▲	『教養教育の意義について』 元静岡大教授上杉省和氏	(1/13静岡)
◆	静岡大と中日新聞の連携講座「世界文化遺産富士山を考える」第4回開催 同大人文社会科学部小田誠二教授が「眺める富士山～景観と表現」と題して心の中にある富士山について講演	(1/12中日)
▲	静岡大が合同企業説明会「静大就職祭」を開催	(1/12静岡)
▲	『南アルプス共生の頂』ニホンジカによる高山植物の食害 食害対策のため調査保護活動を続ける増沢武弘特任教授が広域連携対策の必要性を訴える	(1/12静岡)
●	県書きぞめ榛南地区展が始まる 榛南書道協会会長賞に静岡大附属島田中1年の今村夢香さん	(1/11静岡)
●	『この人』静大フューチャーセンターを設立した静岡大理学部4年の天野浩史さん	(1/11静岡)
▲	「しずおか防災コンソーシアム」が津波避難をテーマとした「ふじのくに防災学講座」を開催予定 静岡大防災総合センター安藤雅孝特任教授が講演予定	(1/11静岡)
▲	静岡大教育学部が25日に教員研修をテーマにシンポジウム開催予定	(1/10静岡)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
●	第35回静岡県小中学生美術・書写作品コンクール 書写の部県教育長賞に静岡大附属島田中1年の兼岩奈央さん、銅賞に同中2年の金原美蘭さんが入選	(1/9静岡)
◆	静岡大と中日新聞の連携講座「世界文化遺産富士山を考える」第4回開催に先立ち同大人文社会科学部小二田誠二教授が富士山の景観や富士山を描いた絵について解説	(1/9中日)
◆	静岡県と静岡大防災総合センターが開催する「ふじのくに防災フェロー養成講座」が4期生募集 同大牛山素行教授は防災人材ネットワーク拠点の形成に手応えを感じる	(1/8静岡)
▲	『駆ける2014』浜松ホトニクス中央研究所長の原勉氏 2014年の抱負として、静岡大などと共同研究を行う「浜松光宣言」の取り組みを挙げる	(1/7日経)
▲	静岡新聞社・静岡放送新春祝賀会開催 伊東幸宏静岡大学長など287人が参加	(1/7静岡)
▲	浜松市で第二十一回市民アカデミーを開催予定 川人祥二静岡大教授が「デジタルカメラの話」のテーマで講座を予定	(1/7中日)
●	浜松医科大学学生が若者への公衆衛生に関する情報はインターネットやSNSが有効であると発表 静岡文化芸術大や静岡大浜松キャンパスの学生へのアンケートなどで調査・分析	(1/6静岡)
▲	静岡大客員教授で株式会社ウィル社長の奥山睦さんが「下町ポブスレー」を発売	(1/6静岡)
▲	浜松ホトニクスが空間に3D像を浮かび上がらせる技術開発に乗り出す 故・高柳健次郎氏が浜松高等工業学校(現静岡大工学部)助教時代、ブラウン管に「イ」の字を映し出してから100年にあたる2016年の実現を目指す	(1/5中日)
▲	国連食糧農業機関(FAO)が認定する世界農業遺産に「静岡の茶草場農法」が認定される 静岡大農学研究科稲垣栄洋教授が地域振興につなげていくしくみづくりが重要と語る	(1/5中日)
●	「静岡地区書きぞめ展席書大会」開催 1096人が一堂に会して筆を執る 静岡大附属幼稚園見城奈々子さん、同大附属静岡中3年鈴木史竜さんが静岡市長賞に入賞	(1/5静岡)
▲	『おもしろ農学』静岡大研究室から 静岡大農学研究科環境森林科学専攻橋本正明助教 樹木と森林生態系を対象とした炭素循環のメカニズムの研究	(1/5静岡)
◆	静岡大防災総合センター牛山素行教授による調査で、台風18号に伴う大雨時の「大雨特別警報」が住民の避難に結びつかなかったことが分かる	(1/4中日)
●	静岡市成人式開催 新成人を代表して静岡大2年の村松麻希子さんなど3人が自覚を語る	(1/4静岡)
▲	『知の基礎体力を育む』 静岡大元学長・名誉教授の佐藤博明さん	(1/1静岡)
▲	英語教育改革実施計画を受けて、静岡大白畑知彦教授が小中連携のカリキュラム構成の必要性を訴える	(12/29毎日)
◆	磐田信用金庫が地元中小企業の支援で静岡大と業務協力の覚書を締結	(12/28静岡)
▲	書評合戦「ビブリオバトル」「ビブリオバトルしぞーか」代表で静岡大附属図書館に勤める利根川奈々さん、同大人文社会科学部平野雅彦客員教授がお勧めの本を紹介	(12/27静岡)
▲	麻薬取締法違反の疑いで逮捕された静岡大法科大学院の和田直人元准教授が嫌疑不十分で不起訴処分	(12/26毎日、静岡、朝日、読売、中日)
◆	神戸大小堀康博教授と静岡大などが次世代太陽電池「有機薄膜太陽電池」効率化の仕組みを解明	(12/25静岡)
▲	『追想メモリアル』 浜松工業専門学校(現静岡大工学部)卒業生のホンダ元社長河島喜好さん	(12/25静岡)
●	小学館の国語辞典「大辞泉」に静岡大情報学部3年丸山翼さんのアイデアが採用される	(12/24静岡)
▲	SBS学苑パルシェ校で「小和田哲男の名城への招待―世界遺産・姫路城を語る―」開講 小和田哲男静岡大名誉教授が現存する建造物の見どころなどを解説	(12/23静岡)
▲	静岡大元学長で静岡文化芸術大の理事興直孝氏が静岡県教育委員に就任	(12/21中日)
▲	県教育委員に就任した元静岡大学長で静岡文化芸術大理事の興直孝氏、教育行政の在り方や方向性について語る	(12/21静岡)
▲	浜松市教委が新教育長に元市立二俣小学校の児玉一記氏を選任 児玉氏は静岡大卒で今年から市教育会館の事務局長補佐を務めている	(12/19静岡)
▲	『この人』書評合戦の魅力伝える「ビブリオバトルしぞーか」の代表で静岡大附属図書館に勤務する利根川奈々さん	(12/20静岡)
●	県内大学生が発行する無料情報誌「静岡時代」編集メンバーが「大学生のための消費生活向上ハンドブック」を作成 編集長で静岡大3年の鈴木里那さんが感想を寄せる	(12/19静岡)
▲	『時評』静岡大防災総合センター小山真人教授 世界文化遺産に登録された富士山への誤解について	(12/18静岡)
●	東日本大震災被災者支援に取り組んできた「はままつ・東北交流館」が来年3月11日に閉館 NPO「スポーツサポートとうかい」代表で静岡大工学部3年の大園政伍さんらは閉館後も風化防止活動を継続	(12/25静岡)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
◆	リニア中央新幹線計画の残土置き場について、静岡大狩野謙一特任教授が防災上の問題点を指摘	(12/17読売)
◆	静岡大の「防災フェロー養成講座」が4期目の受講生募集開始 自治体や企業で災害に関する実務に従事する「現役」職員らが対象	(12/17毎日)
●	県体育協会と静岡陸上競技協会が県強化選手を対象にした練習会を開催 静岡大教育学部で教師を目指す学生が指導に加わり、トレーニング方法を指導	(12/17静岡)
◆	静岡科学館・く・ると静岡大が「レッツ トライ科学実験」を開催 同大職員や農学部が遺伝子のDNAを取り出す実験に挑戦	(12/17静岡)
◆	静岡大防災総合センターが「防災ロゲイニング」を同大で開催 防災・防災設備などを探し歩くゲーム形式で防災チェックを行う	(12/16静岡)
▲	静岡県が原子力県民講座を開催、静岡大大学院奥野健二教授らが講師を務める 市民団体が「再稼働を後押しする講座」として抗議行動を展開	(12/16中日)
◆	静岡大と中日新聞の連携講座「世界文化遺産富士山を考える」第3回開催 同大理学部の和田秀樹教授が「富士山の美を作る生い立ち-生の姿と富士の恵み」と題して講演	(12/15中日)
▲	浜松市の新教育委員長に児玉氏（静岡大卒）	(12/14朝日)
●	静岡大で県警察相談課犯罪被害者支援室榎木正行室長が講義 同大教育学部の3年生120人が犯罪被害者支援の講義を受講	(12/14静岡)
◆	静岡大防災総合センターの調査で、8月から運用している大雨特別警報の理解が4割にとどまると判明	(12/13毎日)
▲	静岡大が次期法務研究科長に中村和夫教授を選出	(12/13静岡)
▲	徳川みらい学会が第5回講演会を開催 本多隆成静岡大名誉教授が「家康の大御所政治と久能山」と題して講演、会員約400人が参加	(12/13静岡)
▲	全国の大学生2000人を東日本震災被災地に送る「きっかけバス四十七プロジェクト」、静岡県からは静岡大1年仁田直人さんをリーダーに参加予定	(12/12中日)
▲	文部科学省が、全国の公立中学・高校の英語教諭の英語力を公表する方針固める 白畑知彦静岡大教授は、英語能力試験の成績だけでなく多方面から能力評価を行う必要があるとコメント	(12/12毎日)
▲	静岡大工学部が2014年度に外国人教員を全5学科で採用する方針を発表 英語による授業を増やし、ものづくりに精通したグローバルな人材養成を目指す	(12/12静岡、日経)
●	静岡市内の大学生が県赤十字血液センターとともに献血呼び掛け 静岡大の「ボランティアサークル響」の学生らがクリスマス献血キャンペーンと銘打ち啓発活動行う	(12/12静岡)
▲	『茶況』静岡大小二田誠二教授が代表を務める静岡茶共同研究会が公開勉強会「静岡茶業の建築文化」を開催予定	(12/11静岡)
◆	静岡大と中日新聞の連携講座「世界文化遺産富士山を考える」第3回開催に先立ち同大理学研究科和田秀樹教授が富士山のもたらす湧き水の恵みなどについて解説	(12/11中日)
▲	連合静岡と静岡大が若手組合員代表と学生の交流会「静ジョブ先輩ゼミ〜働くを一緒に考える」開催 同大人文社会科学部法学科の学生11人が参加し、就労や就職活動について意見交換	(12/11静岡)
●	全国小中高生対象のエネルギー利用技術作品コンテスト表彰式が静岡大で開催 同大附属静岡中3年佐藤央さんが日本産業技術教育学会優秀奨励賞を受賞	(12/11静岡)
◆	静岡市教委が国語授業改善を目指す研修会を開催 市学力向上専門委員の坂口京子静岡大准教授が講話、市内の小中学校教諭約180人が参加	(12/10静岡)
▲	電子科学分野の研究者を表彰する高柳賞の第27回贈呈式開催 静岡大電子工学研究所の早川泰弘教授が高柳記念賞、阪東一毅同大大学院理学研究科講師など3人が研究奨励賞を受賞	(12/10静岡)
▲	三保の松原で自然観察会が開催 元静岡大講師堀内一利さんが小中学校の指導者向けに植物や岩石などの知識を伝授	(12/8中日)
●	鈴木梅太郎博士顕彰会が中高生理科研究を対象とした「第60回鈴木賞」授与式開催 中学校の部で静岡大附属浜松中2年橋本智洋さんが正賞受賞	(12/8静岡)
◆	NPO法人あざれあ交流会議所が「防災パワーアップ講座」開催 静岡大教育学部池田恵子教授が講師を務め、女性の視点に立った災害対策について理解を深める	(12/8静岡)
▲	『提言 減災』静岡大防災総合センター原田賢治准教授 静岡県第4次地震被害想定2次報告公表を受け、住民一人一人の対策と準備の必要性を語る	(12/8静岡)
▲	『静岡 きらり人財』在来作物の魅力を広める「在来の味を愉しむ会」代表で静岡大の稲垣栄洋教授	(12/7日経)
◆	静岡大で国家公務員の仕事内容語る出前講座開催 就職を考える学生約120人が受講	(12/7中日)
▲	『この人』静岡市内の幼稚園と保育園にキエルキンを寄贈したベンチャー企業「ラジカルラボ」主任研究員 静岡大、同大学院卒業生の吉武亨将さん	(12/7静岡)
◆	静岡大が男女共同参画シンポジウム「ワークライフバランスのすすめ」開催 パネル討論や基調講演に市民や学生ら約130人が参加	(12/7静岡)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
◆	静岡大教育学部教員によるコンサート「音楽は愉し!!これを聴けば、あなたも音楽通に！」開催 同大教授9人がピアノ、サクソホンやダンスを披露	(12/6静岡)
▲	浜松市天竜区春野町の地滑りについて、現地調査を行った土屋智静岡大教授が日本地すべり学会報告で雨と地形の複合要因であるとの見解を示す	(12/6朝日)
▲	土居英二静岡大名誉教授が焼津さかなセンターの市内経済普及効果が年間約113億円に上ると分析	(12/5朝日)
▲	浜松・東三河地域イノベーション戦略推進協議会が浜松市内小学生を対象にした算数ゲーム大会「MATHやらまいか」を開催 1172人の参加者中、上位30人が決勝に進み、ゲームに取り組む	(12/4日経)
▲	8月から実施されていた生活保護費減額について、厚生労働省が前例のない方式で算出 静岡大人文社会科学部上藤一郎教授が理論上も実際上も異例な物価指数であると指摘	(12/4中日)
▲	電子科学分野で顕著な業績をあげた研究者に贈られる「高柳賞」 静岡大電子工学研究所の早川泰弘教授が高柳記念賞を受賞	(12/3毎日)
▲	『インタビュー しずおか』 リニアは環境にどんな影響を及ぼすのか？ リニア中央新幹線が県内環境に及ぼす影響について、佐藤博明静岡大名誉教授が意見を述べる	(12/3朝日)
▲	日本書道教育協会が「書道大学講座」を開催 SBS学園書道教室講師で静岡大名誉教授の平形精一さんが「書の基本と創作・鑑賞について」と題して講演を行う	(12/3静岡)
●	しずおか新聞感想文コンクール 小学生の部で静岡大附属浜松小6年鷹野華子さんが入選	(12/3静岡)
◆	静岡大創造科学技術大学院徳元俊伸教授のグループが魚類の性転換実験に成功、「未分化生殖幹細胞」が残っていることを発見	(12/3静岡)
▲	『おもしろ農学』静岡大研究室から 静岡大農学附属フィールド科学教育研究センター八幡昌紀助教 ブルーベリー在来野生種のナガボナツハゼの研究について	(12/1静岡)
◆	土居英二静岡大名誉教授が焼津さかなセンターの経済波及効果を独自試算、直接効果や波及効果を合わせると113億円に上ると算出	(11/29中日)
▲	静岡科学館る・く・るで元静岡大教育学部教授の杉山恵一さんの回顧展「むし・ムシ・虫ーハチの博物誌スケッチ原画ー」が23日まで開催	(11/28静岡)
◆	焼津市「第5次総合計画」後期基本計画案の答申が行われる 審議会会長で静岡大人文社会科学部日詰一幸教授が市町に答申 教育、福祉、経済などの観点から意見や要望を伝える	(11/27静岡)
▲	元静岡大教授高杉一郎氏が創設した県文学連盟が50周年を迎え、記念展示が始まる	(11/26毎日)
▲	県協議会運営委員会、新委員に元静岡大学長で静岡文化芸術大理事の興直孝氏を起用	(11/26静岡)
▲	川根本町副町長に元町職員森紀代志氏、教育委員に元静岡大人文科学部教授大橋慶士氏を起用	(11/26静岡)
◆	静岡大電子工学研究所中本正幸教授の研究室がコンサート「先端科学技術とクラシックピアノ音楽との出会い」開催予定	(11/26中日)
◆	静岡大農学部藤枝フィールドの農産物販売が遠鉄百貨店で開催される 最新の研究で生まれた野菜や無農薬の安全な作物など、多くの客の人気を呼ぶ	(11/25中日)
■	絵画などを透視して下地や技法を調べる「テラヘルツ波」 静岡大工学研究科廣本宣久教授が精度の高い「反射型分光装置」を開発	(11/25静岡)
◆	富士山世界遺産登録を記念した県民講座開催 静岡大防災総合センター小山真人教授が富士山の歴史を解説、保全計画の必要性を訴えた	(11/25静岡)
●	第66回全日本合唱コンクール全国大会で静岡大混声合唱団が銅賞受賞	(11/24朝日)
◆	県防災講演会開催 静岡大防災総合センター狩野謙一特任教授が「富士山川河口断層帯」について、小山真人副センター長が、「富士山火山広域避難計画」について講演を行う	(11/24静岡)
●	静岡大学生が主催するビジネスコンテスト開催 同大と専修大の計8チームが参加し、コンビニエンスストア拠点の電気自動車カーシェアリングを提案した同大情報学部のチームが優勝	(11/23中日)
●	県労働者福祉協議会がロッキー奨学基金の授与式を開催 静岡大や常葉大などの学生11人に目録が渡される	(11/23静岡)
▲	『The PROFESSIONALS IMAGING～人の目を超える～』世界で初めてブラウン管に「イ」の文字を映し出した静岡大浜松キャンパス 光技術最新研究と未来像について 同大電子工学研究所川人祥二教授	(11/23静岡)
◆	静岡大で著名な卒業生を講師に招く第12回アントレプレナー講演会を開催予定 カゴメ元常務鶴飼暢雄氏が「トマトの魅力との対話」と題して講演	(11/22日経)
▲	日経BPコンサルティング「大学ブランド・イメージ調査（東海・北陸編）」静岡大が5位にランクイン	(11/22日経)
◆	リニア中央新幹線環境影響評価準備書の審議を行う静岡市環境影響評価専門家会議、元静岡大学長佐藤博明副会長らが絶滅危惧2種の評価が不十分だとして再調査を求める	(11/20静岡)
●	東海大学サッカーリーグ一部、県勢トップは常葉大浜松キャンパス 静岡大は6位におわる	(11/19中日)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
●	第5回間伐材活用シンポジウム「国産材活用の推進に向けて」開催 静岡大農学研究科卒業生でフロンティアジャパン環境事業部の末吉孝行さんなどがパネルディスカッションを行う	(11/19毎日)
●	静岡大硬式庭球部と卒業生の芙蓉クラブが麻生杯静岡テニストーナメント大会の記念式典を開催	(11/19静岡)
▲	富士市長選の公開討論会が開催予定 静岡大人文社会科学部の日詰一幸教授がコーディネータを務める	(11/19毎日)
▲	麻薬取締法違反の疑いで逮捕、送検されていた静岡大法科大学院の和田直人准教授が処分保留で釈放	(11/19静岡、朝日、毎日、読売、中日)
◆	静岡大人文社会科学部で南海トラフ地震をテーマにしたシンポジウムが開催 東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センターの網島さんなどが講演	(11/18中日)
◆	静岡大「第3回キャンパスフェスタin静岡」始まる 実験体験や公開授業などを通して教育や研究の成果を地域住民に紹介	(11/17静岡)
●	静岡大附属特別支援学校で研究発表会 県内外の教育関係者約120人が参加	(11/16静岡)
■	静岡大防災総合センター牛山素行教授が市町の気象・防災情報活用力の重要性を語る	(11/16静岡)
▲	静岡県と静岡理科大学が機械工学の研究分野で連携協定を締結 県の連携協定は静岡大、沼津高専などに次いで5校目	(11/16静岡、日経)
●	静岡大附属島田中学校で第59回教育研究発表会始まる 「主体性を高める授業過程」をテーマに教科別学習プログラムを発表	(11/15静岡)
▲	県近代史研究会が11月定例会開催予定 静岡大人文社会科学部研究科樋田友直さんなどが研究内容を報告	(11/15静岡)
▲	カンボジア児童買春問題に取り組む県立大公認の学生団体「NGOあおい」がイベント企画 静岡大の大学祭などでポスター展示などを予定	(11/13中日)
▲	静岡税務署と静岡税務推進協議会が2013年度納税表彰開催 静岡大教育学部磯山恭子教授が静岡税務署長表彰を受賞	(11/13静岡)
■	静岡大キャンパスミュージアムで世界ジオパーク認定を目指す伊豆半島がテーマの企画展を開催 立体地図や資料を通じて半島の魅力を紹介	(11/13静岡)
◆	静岡大電子工学研究所が浜松キャンパスで「第15回高柳健次郎記念シンポジウム」を開催 「イメージング・サイエンス」をテーマに国内外の研究者や企業、学生が研究成果を発表	(11/13静岡)
●	『おはよう』京都府立大農学部から転身し、静岡大法科大学院と名古屋大で法学を学び司法試験に合格した丹治雅裕さん	(11/12中日)
●	静岡市立南中が伊豆大島土砂災害を踏まえ「防災道徳」の授業を開く 静岡大教育学部藤井基貴准教授のゼミで学ぶ村松未央さんが講師を務め、モラルジレンマについて議論	(11/12静岡)
●	2013年「こども環境作文コンクール」で静岡大附属浜松中袴田大晶さんが最優秀作品、静岡新聞社・静岡放送賞を受賞	(11/12静岡)
▲	静岡市が本年度の市功労者、有功者を発表 有功者に静岡大法務研究科の恒川隆生教授	(11/10静岡)
▲	第21回遠鉄ストア児童・学生童話大賞最終審査会開催 静岡大附属浜松中が特別学校奨励賞を受賞	(11/10静岡)
◆	静岡大・中日新聞の連携講座「世界文化遺産富士山を考える」の2回目が開催 「文化遺産を育て守る富士山の自然」をテーマに同大理学部特任教授増沢武弘特任教授が講義を行う	(11/10中日)
■	静岡大大学院情報学研究科の竹林洋一教授らが認知症の治療やアドバイスをネットで行う「認知症アシストフォーラム」を開設	(11/9中日)
◆	リニア中央新幹線整備計画環境評価準備書を審議する県環境影響評価審査会が山梨県の残土置き場を視察 審査会長の和田秀樹静岡大教授がLRからの明確な説明を求める	(11/8静岡)
●	JA静岡経済連が「静岡きぬむすめ」発売イベントを開催 静岡大教育学部学生チームが米袋をデザイン	(11/8静岡)
▲	『この人』静岡大理学部「サイエンスカフェin静岡」の6代目店長に就任した同大大学院理学研究科の浅芝秀人教授	(11/8静岡)
▲	静岡大附属特別支援学校中学部の生徒が城北公園の花時計植え替えを行う 同大教育学部の学生や市職員らと共に約50本の苗を植え、花壇を鮮やかに彩る	(11/8静岡)
▲	本年度優良PTA文部科学大臣表彰、静岡大附属静岡小PTAなど県内4団体が受賞	(11/8静岡)
▲	キットカットを販売するネスレ主催の「受験生応援キャンペーン」決起会が開催され、全国15大学のキャラクターが集結 静岡大のしずっぴーも受験生にエールを送る	(11/8静岡)
◆	超党派静岡市議8人がリニア新幹線トンネル工事予定地を視察 佐藤博明元静岡大学長が委員長を務める南アルプス総合学術検討委員会はJR東海に対し環境保全や回避措置の提示を求める	(11/7静岡)
●	静岡大卒業生で元理科教師の山田猛夫さんが、日展絵画部門に初入選	(11/7静岡)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
▲	文部科学省の国立大学法人評価委員会が2012年度分中期目標についての評価結果を公表 その他の業務運営の項目について、静岡大など10法人が「やや遅れている」との評価	(11/7静岡、朝日)
◆	「巴川流域麻機遊水地自然再生協議会」が外来種捕獲作戦を実施 静岡大理学研究科の加藤英明学術研究員が、外来種の飼育など、生き物を飼う時は責任を持つように呼びかける	(11/6静岡)
◆	第14回ライチョウ会議山梨大会の公開シンポジウム開催 パネル討論会の進行役を務めた静岡大増沢武弘特任教授が南アルプスユネスコエコパークを目指す上での重要性を強調	(11/5静岡)
▲	元静岡大教授で作家の高杉一郎氏が創設した県文学連盟が50周年記念式を開催 関係者60人がさらなる飛躍を誓う	(11/5静岡)
◆	砂防学と日本地すべり学会伊豆大島土石流災害の現地調査 調査団の静岡大農学部土屋智教授らが規模の大きさや被害状況を調査	(11/5静岡)
◆	静岡大・中日新聞の連携講座第2回開催に先立ち、「文化遺産を育て守る富士山の自然」をテーマに講演を行う同大理学部特任教授増沢武弘特任教授が富士山の魅力や特徴を解説	(11/5中日)
◆	砂防学と日本地すべり学会の合同調査団が伊豆大島土石流災害についての見解を述べる 静岡大農学部土屋智教授が伊豆大島土石流の原因について調査結果を報告	(11/3静岡)
▲	『おもしろ農学』静岡大研究室から 静岡大農学研究科釜谷保志教授 環境中に投入された化学物質の水生生物への有害性について	(11/3静岡)
●	「こども環境作文コンクール」の表彰式で、静岡大附属浜松中1年袴田大晶さんが静岡新聞社・静岡放送賞を受賞 同大附属浜松小3年生生久葵さん、同大附属島田中1年鈴木絢子さんが県教育賞に入賞	(11/3静岡)
▲	秋の叙勲、瑞宝中綬章を受賞した静岡大名誉教授角替弘志氏が受賞の喜びを語る	(11/3中日)
▲	瑞宝小綬章に静岡大名誉教授の大野武氏、佐治武志氏、角替弘志氏	(11/3静岡、朝日、読売、)
●	静岡大附属図書館などで開催していた県内の書評合戦「ビブリオバトルしぞーか」が公立図書館で相次いで開催予定 交流の場を広め知名度向上を目指す	(11/2静岡)
●	欧州で始まった「フューチャーセンター」が県内でも続々と誕生 2011年から静岡県立大などで立ち上げ、静岡大や常葉大の学生などが参加	(10/31静岡)
◆	駐日ポーランド大使が静岡大浜松キャンパスを訪問、教員やポーランド人留学生と懇談	(10/31中日)
▲	第18回静岡健康・長寿学術フォーラム開催予定 静岡県と静岡大、静岡県立大、浜松医科大学の実行委員が最新の研究と実践を全国に発信	(10/31静岡)
▲	日本書道教育協会が「書道大学講座」開催予定 平形精一静岡大名誉教授が「書の基本と創作・鑑賞について」をテーマに講座を行う	(10/30静岡)
●	「小さな親切」運動県本部の作文コンクール中学校の部で静岡大附属浜松中壬生遥乃さんが県教育長賞受賞	(10/30静岡)
▲	静岡大法科大学院准教授が麻薬及び向精神薬取締法違反の疑いで逮捕	(10/29静岡、毎日、中日、10/30静岡、読売、中日、朝日、毎日、)
●	県選挙管理委員会が2013年度明るい選挙啓発ポスターコンクール審査結果を訂正 静岡大附属静岡中3年中島玉絵さん、静岡場内中2年望月勇希さんの学年を訂正	(10/29静岡)
▲	静岡大が2014年度一般入試の学生募集要項を発表 6学部1539人を募集	(10/29静岡)
●	静岡市井宮北小で「亀たまつり」開催 静岡大学生など13団体がブースを出展	(10/28静岡)
▲	静岡大人文社会科学部がシンポジウム「南海トラフ震災に向けて」開催予定	(10/27中日)
▲	第32回どうぶつの絵コンクールの表彰式が開かれる 審査委員長の白井嘉尚教授が講評を述べる	(10/27静岡)
◆	静岡大防災総合センター牛山素行教授らの調査で、豪雨時の通報数と被害深刻度に相関関係があることが分かる 情報発信や避難の目安への利用を期待	(10/26毎日)
▲	リニア中央新幹線の環境影響評価審査会開催 会長の静岡大大学院理学研究科和田秀樹教授は防災や残土を懸念、同大学院宗林留美教授は準備書の誤りを指摘	(10/25中日)
▲	全国学力・学習状況調査で国語A全国最下位を受け、学力向上集会開催 学力向上推進協議会委員の静岡大村山功教授が対策を提案	(10/25読売、中日)
◆	静岡大・読売新聞共催の連続市民講座「グローバル化時代を生きる」の第4回講座開催 同大大学院情報学研究所金明美准教授が「グローバル時代の『共同体』」と題し講演	(10/25読売)
◆	静岡市西ヶ谷清掃工場ごみ焼却の溶融物が奄美大島海藻再生に活用されていることを受け、市議会委員や静岡大研究者が現地を視察、交流拡大に向け意見交換	(10/24静岡)
◆	静岡大北村晃寿准教授らの調査で、過去に静岡平野に安政東海地震を超える大津波が来た可能性 今後、県の防災計画見直しの検証のためさらなる調査が必要	(10/23朝日、10/24静岡)
◆	静岡市するが女性の会と市南部生涯学習センターが講演会「男女共同参画の視点で、災害につよい地域づくりを」を開催 静岡大教育学部池田恵子教授が講師を務め市民約50人が参加	(10/22静岡)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
●	授業づくりや学級経営を学ぶ「ふじえだ教師塾」後期の入塾・開講式が開かれる 来年度教員採用試験合格を目指す大学生ら15人が入塾、静岡大教育学部3年の鈴木佑輔さんが決意を述べる	(10/21静岡)
◆	静岡大とロシアのサントペテルブルク国立工業大が学術協定を締結 静岡大電子工学所所長三村秀典教授と中西洋一郎同大名誉教授が同工業大を訪れ調印式を行う	(10/21静岡)
●	第61回全日本吹奏楽コンクール大学の部で静岡大が銀賞受賞	(10/20朝日)
▲	総務省が行政相談委員の大臣表彰を行う 静岡大での出前教室開催などを行っている佐藤エイ子さんなど県内からは2名が表彰を受ける	(10/20静岡)
▲	『静岡わたしの"世界"遺産』200万年前の地層の断面を間近に見ることができる袋井市宇刈里山公園 地層断面保存を助言した静岡大教育学部延原尊美教授がコメント	(10/19中日)
▲	台風26号による伊豆大島の土砂災害を受け、静岡大土屋智教授など専門家が県内被害軽減のために森林遺児の重要性を指摘	(10/19静岡)
▲	リニア中央新幹線に関する静岡市環境影響評価専門家会議が行われる 佐藤博明元静岡大学長や静岡大防災総合センター狩野謙一特任教授などがJR東海へ資料や調査不足を指摘	(10/19静岡)
◆	静岡大と静岡英和学院大が「I Loveしずおか協議会」の会員を講師に迎えて授業を開催 両校の学生18人が参加し、学生の視点から町の在り方や課題を探る	(10/19静岡)
▲	静岡大准教授が 研究費の不適切経理で停職1カ月の懲戒処分	(10/18静岡、朝日、読売、中日、10/19読売、朝日)
▲	静岡大教育学部附属静岡中が9年間の研究成果をまとめた「『人間形成のための学力』を育む授業－子どもが自ら学び続けるために」を出版 教科と学びの創造をテーマに成果を検証	(10/18静岡)
▲	『時評』静岡大防災総合センター副センター長牛山素行教授 8月30日から気象庁が新たに始めた防災情報「特別警報」について	(10/17静岡)
●	第357回全国珠算教育連盟段位検定資格合格者 静岡大附属静岡小5年片山愛理さんが珠算3段と暗算2段に合格	(10/17静岡)
●	第66回全日本合唱コンクール全国大会 大学ユースの部で静岡大混声合唱団が出場予定	(10/16朝日)
▲	佐藤博明元静岡大学長が委員長を務める「静岡市南アルプス世界自然遺産登録学術検討委員会」がリニア中央新幹線環境影響評価準備書について協議 同大增沢武弘特任教授らなど委員から厳しい意見が相次ぐ	(10/16静岡)
●	県選挙管理委員会が2013年選挙啓発ポスターコンクール審査結果発表 県内からは静岡大附属静岡中1年の中島玉絵さんの作品が入選、中央審査会へ出品予定	(10/16静岡)
●	静岡県立大のサークル「YEC（若者エンパワメント委員会）」が学校教育が果たす役割について研修会を開催 静岡大や常葉大などの学生20人が参加し講演を通じて学校教育の在り方を考える	(10/14静岡)
◆	「TPP参加交渉からの即時脱退を求める大学教員の会」で県内の影響を調査した土居英二静岡大名誉教授が、TPP参加による静岡県への影響や問題点について解説	(10/14中日)
◆	静岡大と中日新聞の連携講座「世界文化遺産富士山を考える」開催 同大教育学部小山真人教授が「富士山 大自然への道案内」と題して富士山の歴史や魅力、遺産価値などについて紹介	(10/13中日)
◆	全国学力テストの結果を分析する県教委学力向上推進協議会が開かれる 会長の静岡大教育学部村山功教授が指導要領への対応が不十分であると問題提起	(10/12静岡)
◆	静岡大とロシアサントペテルブルグ国立工業大が学術協定を締結 静岡大電子工学研究所所長三村秀典教授と中西洋一郎同大名誉教授が、同工業大ニコライ・リスティン学長と調印	(10/10中日)
■	静岡大と静岡商工会議所が野菜や穀物の高温・乾燥への耐性を高める植物由来エキス開発 肥料などの製品販売ライセンス契約を結ぶ	(10/9日経)
●	JA共済件小・中学生書道コンクール審査会開催 静岡大附属島田中1年兼岩奈央さん、2年の大塚裕香子さんが金賞受賞	(10/9静岡)
◆	静岡大と中日新聞の連携講座「世界文化遺産富士山を考える」 12日に同大教育学部小山真人教授が「富士山 大自然への道案内」と題して講演	(10/9中日)
▲	朝鮮学校周辺で繰り返されるヘイトスピーチの判決を受け、静岡大小谷教授が過激化するヘイトスピーチについてその背景や問題を指摘	(10/8静岡)
◆	蔵書やデータベースを活用した経営改善などのビジネス支援広がる 浜松市中区市立城北図書館では静岡大教授などを講師に招いて経営シミュレーション講座を開催	(10/7静岡)
●	第61回全日本吹奏楽コンクール 大学の部で静岡大吹奏楽部が出場	(10/7朝日)
●	『ひと しずおか』県内学生らで構成する学生ボランティア「うちっち」の代表で静岡大教育学部3年の宇田哲也さん	(10/6毎日)
◆	第18回NIE全国大会静岡大会の成果発表会開催 大会実行委員長を務めた角替弘志静岡大名誉教授が大会を総括し、NIE継続に意欲を示す	(10/6静岡)
▲	『おもしろ農学』静岡大研究室から 静岡大農学研究科応用生物化学農薬学教授 植物の乾燥耐性付与剤「アブシナゾール」の実用化の研究	(10/6静岡)
◆	静岡大、静岡県立大、静岡産業大の教授陣と県茶業者が静岡茶の文化と歴史の共同研究を開始 茶の産業振興や消費拡大を目指す	(10/6静岡)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
◆	全国学力テスト分析報告 分析支援ソフト開発に携わった静岡大村山功教授が国語力の2極化を指摘	(10/6中日)
◆	静岡大と中日新聞の連携講座「世界文化遺産富士山を考える」開講予定 富士山を自然と文化の両面から研究する「富士山学」立ち上げに同大伊東幸宏学長が意欲を見せる	(10/6中日)
▲	静岡大で「NIFEE」5期生と大学院の入学式開催	(10/5静岡)
▲	宇刈里公園を管理する袋井市が日本地質学会から学会表彰を受ける 静岡大教育学部延原尊美教授が推薦	(10/5静岡)
■	静岡大防災総合センター狩野謙一特任教授らの分析で富士川河口断層帯の活動が活発になっていることが判明 追加調査や従来の評価見直しの必要性を指摘	(10/5、10/9静岡)
●	静岡市がインターネット動画配信「しずまっちWebTV」の運用を開始 初回の2日、静岡大3年の永田侑里さんがハル・インダストリーの松浦令一社長と対談	(10/5静岡)
▲	静岡大含む25校で合格者1割以下など司法試験合格率低迷の法科大学院制度の見直しのため法曹養成制度改革推進会議が発足	(10/4静岡)
■	静岡大大学院工学研究科朝間淳一准教授が磁気利用型遠心ポンプを開発	(10/4中日)
◆	静岡大・読売新聞共催の連続市民講座「グローバル化時代を生きる」の第3回講座開催 同大大学院理学研究科道林克禎教授が「マントル掘削～地球規模の物質循環を探る～」と題し講演	(10/4読売)
■	静岡大防災総合センター林能成客員准教授が電車の揺れが震度5弱程度という調査結果をまとめる 揺れをイメージすることで対策につながることを期待	(10/4静岡)
■	材料科学技術振興財団が「山崎貞一賞」選出 静岡大電子工学研究所寺西信一特任教授、同大大学院工学研究科橋口原教授など4分野10人が選ばれる	(10/4静岡)
◆	静岡大、浜松医科大など静岡県内外の機関・企業などが女性研究者の活躍支援で連携	(10/3日経)
▲	『学校がつなぐ仲間たち』 静岡大教育学部教員らと清水エスパルスが連携している「ドリーム教室」	(10/2中日)
●	第68回関東合唱コンクールで静岡大混声合唱団が金賞 11月の全国大会へ出場決める	(9/30朝日)
●	静岡大附属特別支援学校と県立清水特別支援学校などの学生がサッカーを通じて交流	(9/30静岡)
▲	「まちみがき戦略推進プラン」を評価する公募市民ら委員会が報告会を開く 78事業中2事業を必要度低いと判断 委員長で静岡大日詰一幸教授が事業の遅れや見直しを指摘	(9/29静岡)
●	蒲原生涯学習交流館で秋の演奏会開催 静岡大教育学部音楽科のアウトリーチ研究会などがジブリ映画楽曲の合唱や連弾などを披露	(9/29静岡)
▲	叙位叙勲 正六位瑞宝双光章に静岡大名誉教授児山仁氏	(9/28静岡)
■	静岡大大学院工学研究科の庭山雅嗣准教授が血液循環を計測する超小型光センサーを開発 製品化も決まり産婦人科などの医療機関向け販売を予定	(9/28静岡、中日、日経)
●	静岡大や常葉大の学生でつくる県学生ボランティア「うちっち」がボランティア仲介活動を始める	(9/28静岡)
◆	静岡大が県内外12機関と女性研究者活動支援で連携 同大男女共同参画推進室が窓口となり、研究支援員などの雇用制度普及を目指す	(9/27日経)
■	静岡大大学院工学研究科の朝間淳一准教授らが医療用遠心ポンプ開発	(9/26日経)
▲	静岡新聞社・静岡放送主催の「どうぶつの絵コンクール」審査会が開かれる 審査委員長の静岡大白井嘉尚教授らが3万点を超える応募作品を審査	(9/26静岡)
▲	県が若者の就職や定着促進を目的とした「若者のための働くルール習得事業」を実施 県立高や静岡大などで出張講座を開催予定	(9/26静岡)
▲	静岡大教育学部附属静岡中でパンダイの社員を招いた講演会を開催	(9/25静岡)
■	静岡大防災総合センター北村晃寿教授が下田市鍋田浜などで地盤隆起調査 周期的地震の履歴を探る調査拡大	(9/24静岡)
◆	静岡大防災総合センターが東海地震説提唱者の講演会「南海トラフ巨大地震と原発震災を考える」を開催 県内防災関係者や市民ら約100人が聴講	(9/22静岡、9/24日経)
◆	『一緒にNIE 県内教諭の実践』 静岡大教育学部附属静岡中での取り組みについて 御殿場高根中の長田裕次先生	(9/22静岡)
●	静岡大、東南アジアの留学生対象エンジニア育成事業「NIFEE」プログラムの1期生3人が終了	(9/21静岡)
◆	静岡大人文社会科学部佐藤誠二教授が委員長を務め、藤枝市民や企業代表者など「市公の施設はつらつ運営委員会」が市内公施設モニタリング結果を報告	(9/20静岡)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
●	浜松市の「竜ヶ岩洞」で10年ぶりに洞内探検調査再開 小野寺秀和支配人と静岡大探検部員が探索を行う	(9/20静岡)
▲	徳川みらい学会の第1回特別企画県内見学ツアーが開催される 小和田哲男静岡大名誉教授が案内役を務め、袋井市の可睡斎、静岡市の臨濟寺、清見寺などを訪れる	(9/19静岡)
▲	JR東海がリニア中央新幹線整備計画環境影響評価準備書を公表 県環境影響評価審査会長の静岡大理学部和田秀樹教授や静岡市専門家会議委員の同大防災総合センター狩野謙一特任教授が残土処理について指摘	(9/19静岡)
◆	静岡大人文社会科学部主催シンポジウム「東アジアから考える福祉社会の未来 日本と台湾の経験から」開催アジアの福祉の課題についてパネル討論	(9/19静岡)
◆	静岡市消防局が山岳救助研修を行う 静岡大教育学部村越真教授を講師に招き地図の読み方などを訓練	(9/18静岡)
▲	『時評』 静岡大楊海英教授 日本人のモンゴル学について	(9/18静岡)
▲	『学生さんのイチ押し』静岡大サイクリング部で部員がオリジナル自転車を特注している「バイククルわたなべ」	(9/17静岡)
▲	全国学力テスト県内小学校6年国語Aが最下位の結果を受け学力検定の動き 県教委の学力検証委員長で静岡大教育学部の村山功教授が県と市町の役割の在り方を説明	(9/15静岡)
■	『本音インタビュー』宇宙エレベーター協会顧問的役割を担い、研究に取り組んでいる静岡大工学部 山極芳樹教授	(9/13静岡)
●	「ぬまつ環境市民大学・環境基礎講座」が始まる 静岡大2年の木下直道さんが同大水谷洋一准教授とともに「持続可能な社会に向けて」というテーマで講義	(9/13中日)
●	静岡市内で中学生が英語スピーチ披露 静岡大附属静岡中3年荻野紗央さんなどが県中部地区大会へ出場決まる	(9/12日経、9/14静岡)
■	静岡大大学院工学研究科の朝間淳一准教授らが磁気式遠心ポンプを開発 安定性と耐久性に優れ、医療、製造現場での実用化を目指す	(9/12日経)
◆	島田信用金庫が異業種交流会開催 静岡大や静岡県立大などから専門家が駆けつけ、経営力向上や経営革新などの相談を受け付ける	(9/11静岡)
▲	静岡大法科大学院 司法試験合格率が過去最低3.45%	(9/11静岡、朝日、毎日、読売、中日、日経)
●	第68回東海吹奏楽コンクール大学・職場一般の部で静岡大が金賞受賞 全国大会へ出場決まる	(9/10朝日)
▲	『来春 国公立大学入試のポイント』 AO入試実施大学は減少 静岡大は4学部でAO入試実施	(9/7読売)
●	清水エスパルスのホームスタジアムIAIスタジアム日本平が5年連続でベストピッチ賞 静岡大農学部卒業生でグリーンキーパーの佐野忍さんがピッチ管理への思いを語る	(9/6静岡)
▲	静岡大で「地方総合大学からの文化力発信プロジェクト」が始動、イベントなどの企画運営の人材育成を目指す 同大教育学部教授の白井嘉尚委員長が意気込み語る	(9/6静岡)
▲	第23回日本家族社会学会大会が静岡大で開催予定 研究者やNPO関係者らが報告・討論会を行う	(9/5読売)
●	島田市社会福祉協議会が、静岡大教育学部卒業生で現在は日本教育カウンセラー協会静岡支部代表などを務める小沢巖氏を会長に選出	(9/5静岡)
◆	南アルプスがユネスコエコパーク登録への国内推薦に決定 静岡大増沢武弘特任教授などが貴重な動植物の保護活動を続ける	(9/5静岡)
●	県内無料情報誌「静岡時代」編集メンバーで 静岡大大学院の鈴木智子さんらがフェイスブックページ「静岡未来」の事業レビューについて県政担当者を取材	(9/4静岡)
●	第11回全日本学生フォーミュラ大会開幕 静岡大や静岡理工科大など県内の大学生が優勝をめざし意気込む	(9/3毎日、9/4静岡、中日、9/5読売)
◆	静岡大・読売新聞共催の連続市民講座「グローバル化時代を生きる」の第2回講座開催 同大人文社会科学部船橋恵子教授が「次世代を産み育てる新しい社会に向かって」と題し講演	(9/1、9/5読売)
▲	「特別警報」今日から運用 静岡大防災総合センター牛山素行准教授は、特別警報前の避難や警戒が重要と語る	(8/30朝日)
▲	川根本町の2012年度一般会計決算で余剰金が約6.6億円に上る 静岡大の日詰一幸教授が交付金算定方法の甘さを指摘	(8/30静岡)
◆	JA静岡経済連が静岡大教育学部と共同で米袋を開発 今秋新発売の「きぬむすめ」をPRし静岡コシヒカリに続く第2のブランド米確立を目指す	(8/29静岡)
◆	静岡大人文社会科学部が「清水の風光と近代の宗教家たち」をテーマに公開講座を開催 同大小二田誠二教授が座長を務め、清水地区の景勝地と宗教家たちについて紹介	(8/29静岡)
◆	静岡大理学部丑丸敬史教授が高校生を対象に実験講座を開催 静岡城北高、静岡東高の生徒34人が遺伝子の実験を行う	(8/28静岡)
■	静岡大大学院工学研究科の朝間淳一准教授の研究室が磁気利用型遠心ポンプを開発 半導体製造や心臓手術時の血液循環への応用など期待	(8/23静岡)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
◆	静岡大創造科学技術大学院徳元研究室が中高生を対象に体験講座を開催 徳元教授と研究室の学生が指導、遺伝子操作で光る魚を作る方法を学ぶ	(8/23静岡)
▲	静岡大法科大学院が広域連携・連合を目指し協議を進める	(8/23静岡、日経)
●	藤枝市陸上競技協会が陸上教室を開催 静岡大陸上部の学生9人が講師を務め、短距離、長距離ハードル、走り幅跳びの4種目を練習	(8/22静岡)
▲	『時評』静岡大防災総合センター小山真人教授 富士山麓の貴重な自然を守るため、文化遺産だけでなくジオパーク認定を目指すべき	(8/22静岡)
●	静岡大生らがボランティア 仮設住宅に暮らす福島県浪江町の子どもたちの宿題や勉強を手伝う	(8/21中日)
▲	『目指すべきは文化大国日本』今永正明静岡大名誉教授が今後の日本が目指すべきものを「文化大国」として意見を述べる	(8/21静岡)
◆	「徳川みらい学会」が第3回講演会を開催 小和田哲男静岡大名誉教授が「家康を天下人にした教育と学問」と題して講演を行う	(8/21静岡)
▲	静岡大教育学部大宮康男教授が虚偽の誹謗中傷を掲載された掲示板サイトに対して起こした訴訟で、サイト管理会社は争う姿勢を見せる	(8/20静岡、中日)
●	第十一回全日本学生フォーミュラ大会開催に向けて、静岡大、静岡理工科大など県内からの参加校が意気込み語る	(8/20中日)
▲	静岡市南アルプス高山植物保護セミナーが県内高校生と二ホンジカの食害を防ぐ防鹿柵を設置 静岡大増沢武弘特任教授が環境保護策の重要性を指摘	(8/20静岡)
▲	『教育』 第十八回NIE全国大会 静岡大附属静岡中学校三年A組公開授業 新聞記事から派遣労働の問題を学ぶ	(8/19中日)
●	県学生音楽コンクールの本選開催 ピアノ部門に静岡大附属浜松小6年川辺宗一郎さん、同大附属浜松中1年藤島麻衣さん、弦楽器部門に同大附属静岡小2年鉄良伊加さんが入賞	(8/18静岡)
●	「I love しずおか協議会」がインターンシップ「"おまち"の未来を考えよう!!」説明会を開催 静岡大学生支援センター宇賀田栄次特任教授が講評	(8/16静岡)
◆	静岡大日詰一幸教授が理事長を務める静岡地域学会が研究発表会を開催 企業や大学関係者80人が参加、地域の課題をテーマに発表を行う	(8/16静岡)
●	静岡市中心街地商店街などが構成する「I love しずおか協議会」が県内大学生のインターンシップを開始 静岡大や常葉大などの学生が参加予定	(8/14日経、8/16中日)
◆	静岡大と民間団体「I Love しずおか協議会」が連携し静岡中心街で授業 同大大学教育センター須藤智講師などが中心にまちの課題解決に向けた授業を10月から実施	(8/14静岡)
▲	生活保護費支給額切り下げを受け受給者5人が県に審査請求 審査請求代理人の静岡大笹沼弘志教授が改定不当の理由を指摘	(8/13静岡)
●	静岡県立科学技術高がミニマイコンカー制作講習会を開催 中学生7人が参加、静岡大附属静岡中1年横山侑汰さんが感想を述べる	(8/13静岡)
●	第356回全国珠算教育連盟段位検定試験合格者発表 静岡大附属静岡小6年伊藤新之助さんが初段合格	(8/10静岡)
●	地球と宇宙を結ぶ「宇宙エレベーター」実現に向け、宇宙エレベーター協会が大会を開催 静岡大工学部山極芳樹教授と研究室学生など17チームが自作昇降機の性能を競う	(8/10中日)
●	NPO法人イーランチが県中部中学生を対象にワークショップを開催 静岡大、同大学院の学生とインターネットとの上手な付き合い方を学ぶ	(8/8静岡)
▲	『おもしろ農学』静岡大研究室から 静岡大農学研究科徳山真治准教授 農業使用量減少のために微生物の活用を	(8/4静岡)
◆	総務省の「地域ICT振興型研究開発事業」に静岡大大学院情報学研究科峰野博史准教授らの研究が採択される	(8/4静岡)
◆	静岡市教育委員会が中学校保健体育の教員を対象に実技講習会を開催 静岡大教育学部山崎朱音助教などが講師を務め、柔道とダンスの実技指導を行う	(8/3静岡)
▲	静岡大教育学部大宮康男教授がインターネット掲示板サイトに虚偽の誹謗中傷を掲載されたとしてサイト管理会社を提訴	(7/31静岡)
◆	清水産業・情報プラザが「産学官」交流会開催 静岡大岡島いづみ助教、同大間瀬暢之准教授が静岡発の新技術を紹介	(7/31静岡)
●	静岡大教育学部同窓生13人の作品展「三九会展」開催 油絵や水彩画、版画など約30点が県教育会館に展示される	(7/31静岡)
◆	サッカーJ1清水エスパルスが若手選手を対象に一般教養講座を開始 静岡大人文社会科学部水谷洋一准教授が芝生をテーマに講義を行う	(7/31静岡)
●	静岡大浜松キャンパスの留学生と掛川市の榛葉鉄工所が交歓会 20回目の節目を迎え、同大伊東幸宏学長から榛葉正志会長に感謝状が贈られる	(7/28中日)
■	静岡大附属静岡中で公開授業 3年生38人を前に野沢康夫教諭が授業を行う	(7/27静岡)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
●	公益信託東海澱粉国際交流奨学基金が静岡大、静岡県立大など県内大学院留学生8人に奨学金を授与	(7/26静岡)
◆	静岡大日誌一幸教授が理事長を務める静岡地域学会が研究発表会を開催予定	(7/26静岡)
●	静岡大の元留学生モニカ・ザハイさんが校長を務めるポーランドワルシャワの日本語学校の学生9人が静岡市役所来訪 静岡市内で日本語研修を行う	(7/25中日)
◆	静岡市産学交流センターが産学共同研究委託事業6件を採択 静岡大農学部応用生物化学科森田明雄教授らと連携し、三保の松原の松葉の有効活用を目指す	(7/25静岡)
▲	静岡大ボート部漕艇庫移転問題、佐鳴湖南西岸に決定 10月から新築に着手予定	(7/24静岡、中日)
●	静岡市の授産所「マミー・ケア・サポート友の風」通所者と静岡大教育学部書文化研究室の学生が書道を通して交流 学生の書をデザインした缶バッジなど共同商品の制作なども行う	(7/24静岡)
▲	『この人』静岡大創造科学技術大学院竹之内裕文教授 同大教員や学生、市民らと「哲学カフェ@しぞ〜か」を設立	(7/24静岡)
▲	『学生さんのイチ押し』静岡大公認サークル「SUM(Shizuoka University Motors)」 同大浜松キャンパスで全日本学生フォーミュラ大会を目指す	(7/23静岡)
■	静岡大教育学部小山真人教授執筆、地学ガイド本「富士山大自然への道案内」出版 富士山の歴史や恩恵などの基礎知識などについて紹介	(7/23静岡)
●	静岡防災コンソーシアム「ふじのくに防災学講座」開催 第4次地震被害想定について解説 静岡大生の木村朋子さんが感想を述べる	(7/21静岡)
■	美術家で静岡大教育学部の白井嘉尚教授が夫婦で共同制作展「森のなかへⅢ」開催	(7/20静岡)
▲	『働き方の行方2013』 静岡大博士キャリア開発支援センターの取り組み 同センターの支援制度で採用が決まった同大電子工学研究所学術研究員出身のエルファント・ハミッドさん	(7/19中日)
▲	『ウォッチ！ネット選挙』 静岡大情報学研究科佐藤哲也准教授 ネット選挙解禁で選挙のあり方は変わるか	(7/19中日)
◆	島田市初倉郷土研究会が初倉の歴史について講演会を開催 小和田哲男静岡大名誉教授が「戦国時代の初倉とその周辺」と題して講演、県内の合戦の歴史を紹介	(7/19静岡)
▲	静岡科学工学懇話会(事務局：静岡大工学部内)が「大人のための理科倶楽部」を開催予定	(7/19静岡)
▲	静岡大理学部有志研究者でつくる「静岡植物科学くらぶ」が実験講座「植物ミクロの世界を探る」を開催予定	(7/19静岡)
▲	静岡倶楽部が静岡市内小中学生の科学研究を支援する「科学研究奨励賞」伝達式を開催 審査委員長の静岡大教育学部熊野善介教授が激励を送る	(7/19静岡)
▲	『時評』 静岡大楊海英教授 朴大統領の訪中にみる朝鮮族	(7/18静岡)
●	『ひと』静岡大工学部中退後米国立大学へ進学、素足ランニングを提案する日本ベアフット・ランニング協会理事長の吉野剛さん	(7/16朝日)
●	県赤十字血液センターが若者に献血を呼び掛けキャンペーンを開催 静岡大アカベラサークル「GARDEN」や同大「ボランティアサークル響」が啓発活動を行う	(7/16静岡)
▲	『2013参院選静岡』 ネット選挙運動が解禁されたが活用の幅は広がらず 静岡大情報学部佐藤哲也准教授が解禁後の動向について意見を述べる	(7/14静岡)
●	第11回全日本学生フォーミュラ大会が9月に開催 静岡大と静岡理工科大のチーム代表が県庁で会見、意気込みを語る	(7/13静岡、日経)
●	静岡大人文社会科学部の学生が県立美術館口ダシ館でギャラリートークを開催予定 常設展示作品の魅力を紹介	(7/12静岡)
▲	静岡大附属浜松中学校で熱中症 22人が緊急搬送	(7/11静岡、朝日、中日、日経、7/12静岡、朝日、毎日、読売、中日)
◆	県立静岡東高で社会専門講座「アインシュタインの相対性理論と原子爆弾開発」を開催 理学博士の浅野勉静岡大名誉教授が講師を務める	(7/11静岡)
●	静岡大、静岡県立大、常葉大の学生と自治会や商店会が連携し、散策マップ「みちくさなぎ」を作製 地域ブランド向上を目指す	(7/9静岡)
●	浜松科学館で「リモコンマシン・アイデアバトル」ピギナー大会開催 静岡大附属静岡中1年の野ヶ山志晟さんが1位、静岡大附属浜松小5年の石黒晶さんが3位に入賞	(7/7、7/8静岡)
▲	『おもしろ農学』静岡大研究室から 静岡大農学研究科土屋智教授 4月に春野町で発生した斜面崩落を受けて斜面防災学を紹介	(7/7静岡)
▲	静岡県選挙管理委員会が「しずおか参院選つなぎ隊」を発表 9日には静岡大浜松キャンパスで啓発活動を行う予定	(7/4毎日)
●	静岡ガスで奨学生認定授与式開催 静岡大の植松美佳さん、藤田沙南さんや静岡県立大生4名が選ばれる	(7/4毎日、7/5静岡)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
◆	国政選挙で憲法改正が政治課題となる中、静岡大の市民開放講座は「憲法テーマ」が人気 同大小谷順子教授が憲法との向き合い方について解説	(7/3中日)
●	静岡信用金庫が小学生認定授与式を開催 静岡大や静岡県立大の学生4人に奨学金を授与	(7/3静岡)
■	静岡大防災総合センター北村晃寿教授らが清水総合運動場のグラウンドでトレンチ調査を行う 明応地震痕跡の有無を確認	(7/2静岡)
◆	静岡県の第四次地震被害想定をどうみるか、静岡大防災総合センター副センター長牛山素行准教授が解説	(6/28中日)
▲	『いのちを守る 防災しずおか』 静岡大防災総合センター牛山素行准教授	(6/28静岡)
●	知的書評合戦ビブリアバトル東海決戦2013開催 静岡大4年川原弘子さん推薦の「動物には心はあるだろうか？初めての動物学行動学」がチャンプに選ばれる	(6/25読売)
▲	静岡大、2014年度入学者選抜要項を発表 全6学部の入学定員は1970人	(6/25静岡)
▲	『鎌倉だより』旧制静岡高等学校同窓会解散について	(6/24静岡)
◆	静岡大防災総合センター狩野謙一特任教授が会長を務める県地学学会が第50回総会を開催 同大北村晃寿教授が記念講演、同大理学部和田秀樹教授が新会長に選出される	(6/24静岡)
●	第34回県学生音楽コンクール予選会開催 静岡大附属の川辺宗一郎さん(浜松小)、檜皮ゆかりさん(静岡中)、藤島麻衣さん(浜松中)、鉄良伊加さん(静岡小)らが予選通過	(6/24静岡)
●	TOKAIホールディングスが静岡大、静岡県立大の学生に「TOKAIグループ奨学金」を授与 各大学で論文審査を行い、10人が選出される	(6/23静岡)
◆	静岡市清水区の「清水平成政経塾」が6月例会を開催 歴史学者の小和田哲男静岡大名誉教授が戦国武将の経営術や組織運営について講演	(6/21静岡)
●	静岡大が学生向けインターンシップを実施する県内企業と学生の交流会を開催 14社が参加し、インターンシップへの参加を促す	(6/21静岡)
▲	『時評』 静岡大防災総合センター副センター長牛山素行准教授 『防災』と『減災』、災害は防げるかについて	(6/20静岡)
●	ソロプチミスト静岡クラブ賞、静岡大理学部4年の中田敬子さんが受賞	(6/19静岡)
◆	静岡大地学研究会が小学生対象の「夏の地球教室」を開催	(6/16静岡)
▲	『しずおか知事選』 草薙総合運動場の改修工事が終わり、今後の県の財政について静岡大川瀬恵子教授がコメント	(6/14中日)
▲	『清流』 静大生に長年親しまれた定食屋「坊ちゃん」	(6/13静岡)
▲	静岡大静岡キャンパスで「キャンパスミュージアム」の外部評価委員会を開催 学外の博物館長ら3名の委員が意見を述べる	(6/13静岡)
▲	静岡大漕艇部の艇庫、佐鳴湖南岸移転許可申請を予定	(6/13中日)
◆	静岡大、浜松医科大、光産業創成大学院大と浜松ホトニクスが「光の先端都市」に調印 世界トップレベルの光の基礎・応用研究を行う	(6/12静岡、朝日、毎日、読売、中日、日経)
◆	伊豆半島ジオパーク推進協議会顧問で静岡大小山真人教授の著書「伊豆半島のジオマップー火山がつくった中伊豆の風景ー」が静岡新聞社から発売	(6/11静岡)
▲	『静岡発 こう読む』静岡大日詰一幸教授 大地震への備えについて	(6/9中日)
▲	気象庁が重大災害警戒を促す「特別警報」を8月末までに導入予定 静岡大牛山素行准教授が特別警報の必要性などをコメント	(6/8静岡)
●	『富士を支える』静岡大の卒業生で富士宮市文化財保護審議会会長の渡井正二さん	(6/7静岡)
◆	読売新聞静岡支局と静岡大が7月から連続市民講座を開講 静岡大の研究者が多角的なテーマで講演予定	(6/5読売)
●	『しずおか知事選』 県選管は若者の投票率アップ策としてフェイスブックを使った選挙啓発を始める 静岡大大学院や静岡大の学生など県内学生がページ更新	(6/4中日)
▲	浜松市天竜区龍山町の大嶺地区に存在、明治時代に「愛」を大綱でうたった憲法 静岡大橋本誠一教授がコメント	(6/4朝日)
▲	『学生さんのイチ押し』静岡大馬術部のエース馬静藍とパートナーの神戸佑太さん	(6/4静岡)
●	静岡大文理・人文学部同窓会が同窓会発足60周年記念総会を開催 卒業生の林郁夫愛知県知立市長などが記念講演	(6/2静岡)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
▲	『おもしろ農学』静岡大研究室から 静岡大大学院農学研究科共生バイオサイエンス鈴木恭治教授 生分解性エコマテリアルで注目されているバルカナイズドファイバー	(6/2静岡)
▲	『時の人』 ブラジル沖海底に大陸が存在していたことを発見 元静岡大教授で海洋研究開発機構の研究者北里洋さん	(6/1静岡)
◆	県労働者福祉基金協会が無料法律相談会開催 静岡大法科大学院実務家教員の弁護士らが相談に応じる	(6/1静岡)
▲	『南海トラフ地震 遺跡からの警告』 浜名湖を激変させた大津波 静岡大北村晃寿教授などの研究を手掛かりに判明	(5/31静岡)
▲	三富紀敬静岡大名誉教授の著作を盗用した山口大教授が解雇	(5/30静岡、中日)
■	砂防学会の研究発表会が始まる 静岡大防災総合センター笠原順三客員教授が特別講演を行う	(5/30静岡)
▲	『聞きたい 言いたい』静岡大全学同窓会東京地区実行委員長の吉川駿さん	(5/27静岡)
▲	都内で初の静岡大全学同窓会開催 首都圏在住者を中心に約250人が参加	(5/26静岡)
▲	『しずおか発』静岡大学発のベンチャー企業、静岡アグリビジネス研究所	(5/24日経)
▲	『時評』静岡大楊海英教授 米中で起きたテロ事件、テロ集団の歴史的な繋がりについて	(5/23静岡)
◆	浜松市天竜区春野町で発生した地滑りを受け、県や市など行政側に重い課題 静岡大防災総合センター牛山素行准教授が指摘	(5/22静岡)
◆	知事選立候補予定者による公開討論会が袋井で開催 静岡大日詰一幸教授が司会を務める	(5/22静岡)
▲	『2013県知事選 県政の課題』静岡大人文社会科学部川瀬憲子教授が市町格差についてコメント	(5/22静岡)
▲	ユニーク名称課、県内市町にも実在 静岡大人文社会科学部日詰一幸教授がその効果などを解説	(5/21中日)
▲	静大生に長く親しまれた食堂「坊ちゃん」が37年の歴史に幕	(5/21静岡)
◆	知事選立候補予定者による公開討論会開催 静岡大日詰一幸教授が進行役を務め、富士山や防災などについて舌戦	(5/21静岡)
◆	土隆一静岡大名誉教授が会長を務める富士山環境保全活動「ふじさんネットワーク」が2013年度総会を開催 世界遺産登録を見据えて環境保全意識啓発の学習事業を計画	(5/19静岡)
■	富士山山体崩壊で津波の恐れ 静岡大防災総合センター原田賢治准教授らがシミュレーションで試算	(5/18静岡)
■	静岡大北村晃寿教授らの調査で静岡市清水区の清水平野で地震層、津波層が確認される 共同研究者の同大小山真人教授などがコメント	(5/17静岡)
●	国際ソロプチミスト静岡が学生奉仕活動支援制度「シグマソサエティ」の認証状を静岡大森林ボランティアサークル「ぐりーんぐりーん」に交付	(5/17静岡)
◆	静岡南署と交通安全協会静岡南地区支部などが静岡大で交通安全講習を開催	(5/17静岡)
◆	日本青年会議所東海地区静岡ブロック協議会が知事選の立候補予定者による公開討論会を開催 静岡大日詰一幸教授が司会を務め、地域ごとに設定した課題で討論	(5/15静岡)
◆	沼津市立図書館で、静岡大人文社会科学部森本隆子准教授が講師を務める文芸講座を開催予定	(5/15静岡)
◆	静岡市と静岡大がまちづくりや地域防災、教育分野での協力など8項目の包括連携協定を締結 締結式には静岡大伊東幸宏学長と田辺信宏静岡市長らが出席	(5/14静岡、中日、日経)
▲	県教委事務局の改編改編を目指した教育行政改革、指導者主事の処遇が焦点 静岡大武井敦史教授がコメント	(5/13静岡)
●	日本青年会議所関東地区静岡ブロック協議会「憲法タウンミーティング」で憲法改正、領土領海問題について討論 静岡大学生などが参加	(5/13静岡)
●	静岡大大学院教育学研究科の佐野翔さんと谷正輝さんが富士市で2人展を開催	(5/12静岡)
■	津波の威力や浸水の深さが及ぼす被害状況について、静岡大防災総合センター原田賢治准教授が解説	(5/12朝日)
▲	『提言 減災』静岡大防災総合センター原田賢治准教授 東日本大震災を受けて静岡県では2つの津波被害を想定	(5/12静岡)
▲	『窓辺』静岡大などと共同で微生物発酵茶の開発した河村伝兵衛さん	(5/9静岡)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
▲	『世界遺産富士山』 世界文化遺産登録が確実に 県学術委員会委員長の土隆一静岡大名誉教授がイコモスの指摘内容などについて意見を述べる	(5/9読売)
●	今春、法科大学院の9割が定員割れ 静岡大など40校では入学者数が定員の50%未満	(5/8静岡、中日、日経)
▲	『この人』静岡大教育学部が新設した「教職支援室」に着任した同大教職大学院村山功教授	(5/8静岡)
▲	政府法曹養成度検討会議中間提言、静岡大法科大学院など地方大学院に関する方策が示されないことを受け県弁護士会が地方配置の意義訴える	(5/3中日)
▲	『おもしろ農学』静岡大研究室から 静岡大農学部と語圭一郎准教授 精子分化の仕組みを解明し、医療や畜産への応用研究へつなげる	(5/5静岡)
■	県畜産技術研究所が農工連携、酪農場排水浄化処理システムを開発 2009年度から県立工業技術研究所、静岡大工学部などとともに研究に取り組む	(5/5静岡)
▲	憲法記念日である3日、護憲派が集会を主催し約300人が出席 元静岡大教授小沢隆一氏などが講演を行う	(5/4朝日)
▲	政府法曹養成制度検討会議中間提言、静岡大法科大学院など地方大学院に関する方策が示されないことを受け県弁護士会が地方配置の意義訴える	(5/3中日)
▲	浜松市天竜区春野町で発生した地滑り、避難勧告の一部が解除される 静岡大農学部土屋智教授が委員長を務める門島地すべり対策検討委員会が初会合で農作業などの再開を許可	(5/2静岡)
●	静岡学生野球リーグ 静岡大は静岡産大に4-0で快勝	(4/29静岡)
■	『高校理系部 ラボ探訪』富岳館・農業クラブ 元静岡大創造科学技術大学院(現同大グリーン科学技術研究所)河岸洋和教授から植物成長調整物質抽出を学び土壌改良資材開発を研究	(4/29静岡)
▲	春の叙勲、静岡県内は76人が受章 静岡大経営協議会学外委員で元県公安委員会委員長の石村和清氏が旭日双光章受章	(4/29日経)
■	心身症患者への音楽療法 元浜松医大附属病院心療内科長永田勝太さん、静岡大工学部犬塚博教授など、楽曲の構成要素が生体に与える影響を研究	(4/29静岡)
●	静岡学生野球リーグ 静岡大は静岡産大に3-4で惜敗	(4/28静岡)
▲	山口大教授が自身の著書に静岡大三富紀敬名誉教授の著作から無断転載したことについて、三富名誉教授が抗議のコメント	(4/27中日、静岡)
▲	浜松・春野の地滑りについて、静岡大防災総合センター狩野謙一特任教授が四十帯という地層の要因を指摘 同大農学部土屋智教授らは現地を視察	(4/27静岡)
●	静岡大学生2人が静岡大ベンチャー初の社会的課題の解消に主眼を置いたソーシャルビジネス企業、株式会社「exclothes」を設立 古着交換サイトなどを運営予定	(4/26静岡)
▲	浜松市天竜区春野町の地滑りを受けて、静岡大農学部土屋智教授、同大防災総合センター牛山素行准教授など、多くの専門家が県内の危険箇所について指摘	(4/26静岡)
▲	『時評』下田市津波リスク、津波防災 静岡大防災総合センターセンター長小山真人教授	(4/25静岡)
■	駿河湾資源で新事業創出を図る「駿河湾地域事業化プロジェクト」の報告会開催 静岡大は、かんきつ類の機能成分強化、トマトの根こぶ線虫の防除などの研究を報告	(4/24静岡)
▲	『NEWS交差点』県内大学が組織改革 静岡大は今春グリーン科学技術研究所を創設 伊東幸宏学長、所長に就任した朴 龍洙教授などがコメント	(4/24静岡)
▲	「防災気象情報の改善に関する検討会」で静岡大防災総合センターの牛山素行准教授が気象警報に関するアンケート結果を報告	(4/23静岡)
◆	藤枝市で歴史街道文化講演会開催 同市編さん委員長で静岡大湯之上隆教授が「東海道藤枝宿と岡部宿の文化交流」をテーマに講演	(4/23静岡)
●	静岡学生野球リーグ 静岡大、常葉大富士に3-10でコールド負け	(4/23静岡)
●	『静岡 きらり人財』静岡大発ベンチャー「エクスクローズ」同大の在学生で社長の亀谷貴史さん、取締役の伊藤完さん	(4/20日経)
●	静岡大が就職支援プログラム一新 キャリア教育担当教員、キャリアカウンセラーが連携する体制へ 同大佐藤龍子教授、学生支援センター宇賀田栄次特任教授らがコメント	(4/20静岡、日経)
●	静岡大教育学部が教職支援室を開所 教員志望の学生へ「学級経営」「授業構想」「問題行動対応」などを指導	(4/20静岡)
■	徳川みらい学会発足 設立総会では学会のアドバイザー、静岡大小和田哲男名誉教授らがパネル討論会で家康への思いを語る	(4/19中日)
◆	静岡大が浜松ホトニクス、浜松医科大学、光産業創成大学院大学と光技術の佐長く共同研究を開始 同大学内に研究拠点を建設、世界をリードする施設を目指す	(4/18日経)
▲	『清流』 若者の就農を増やすには 静岡大学農学部長糠谷明教授	(4/17静岡)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
●	第28回焼津みなとマラソン、第25回大学対抗ペアマラソン開催 地元静岡大や前年優勝の明治大などが参加	(4/16静岡)
●	静岡学生野球リーグ 静岡大は日大国際関係学部にも0-7でコールド負け	(4/15静岡)
●	東海学生サッカーリーグ 静岡大は東海学園にも0-4で敗れる	(4/14静岡)
◆	静岡市が市民講座「環境大学」の受講生募集 静岡大、東海大などの研究者や企業関係者が講義を予定	(4/13静岡)
●	東海大学バトミントン名古屋市天白SC、静岡大男女とも6位	(4/13静岡)
▲	ミニ統一地方選を前に「1票の格差」をめぐる議論 静岡大日詰一幸教授が市町議員数についてコメント	(4/12静岡)
▲	藤枝市で歴史・街道文化講演会開催予定 静岡大湯之上隆教授が「東海道藤枝宿と岡部宿の文化交流」をテーマに講演予定	(4/11静岡)
●	東海大学バトミントン名古屋市天白SC、静岡大男女ともに棄権	(4/11静岡)
▲	『はりきり人生』 静岡大大学院の卒業生で女性史、近代史研究をしている尾崎朝子さん	(4/10静岡)
◆	静岡県が「高校と大学の連携・接続のあり方検討委員会」を設置 伊東幸宏静岡大学長などが委員に	(4/9静岡)
●	静岡市のブリザードフラワー店「アトリエ マーミ」で東日本大震災被災地支援「第3回サンタバザー」開催 静岡大や富士常葉大の学生も運営・販売に携わる	(4/8静岡)
▲	『おもしろ農学』静岡大研究室から 静岡大農学部共生バイオサイエンス学科大村三男教授 カンキツ類の遺伝子解明	(4/7静岡)
●	県内大学で入学式 静岡大、静岡文芸大などは1年次からキャリア教育科目を設け、就活意識	(4/6静岡)
▲	静岡大サッカー部新監督に 磐田東高教諭の宮司佳則さんが就任	(4/5中日)
●	静岡大入学式 学部・大学院に進む270人が新生活への一歩踏み出す	(4/4中日、4/5静岡、中日)
◆	静岡県と静岡大が取り組む「防災フェロー養成講座」が3年目を迎え、静岡市でシンポジウムを開催	(4/4朝日)
●	文部科学省環境リーダー育成プログラムで、静岡大の留学生が茶道体験	(4/3静岡)
▲	『時評』 静岡大楊海英教授 中国の民族問題について	(4/3静岡)
▲	『学生さんのイチ押し』 静岡大農学部野菜園芸学研究室の「静大トマト」	(4/2静岡)
▲	『時評』 災害は語り継ぐことが重要だが、極めて困難である現実 災害から共通の教訓を探ることが重要 静岡大防災総合センター副センター長牛山素行准教授	(5/2静岡)
●	県立大、静岡大、常葉学園大の学生でつくる「静岡学習支援ネットワーク」が「宿題カフェ」をスタート ひとり親家庭などの中学生の学習をサポート	(5/1静岡)
◆	静岡商工会議所「しみず新産業開発機構」の下部組織「駿河湾地域新事業推進研究会」が総会 研究会には市内を中心とした20社と静岡大などが参加 産官学連携による研究の事業化を進める	(4/28静岡)
▲	学校進学相談会「学びLIVE」開催 静岡大学など県内外の大学120校が参加	(4/28静岡)
▲	小澤一郎氏の無罪判決を受け、検察審査会制度に詳しい県内専門家の反応 静岡大人文社会科学部神馬幸一准教授は制度の構造的な問題露呈と警鐘	(4/27静岡)
▲	『改革に挑む 大学この人に聞く』4月1日静岡大学に「イノベーション社会連携推進機構」設立 機構長柳沢正理事に取り組みのポイントを聞く	(4/27日刊工業)
●	静岡大教育学部附属浜松中で特別授業「ハチに学ぶ」 同校の元理科教諭で県養蜂協会会員がミツバチの世界を紹介	(4/25中日)
◆	伊豆半島の日本ジオパーク認定に向け申請書を作成 静岡大小山真人教授作成の伊豆半島ジオパーク構想の推進指針書をたたき台に	(4/24静岡)
◆	「東海四県三市防災・危機管理に関する連絡会議」と静岡、名古屋、岐阜、三重の4大学が合同の防災シンポジウム パネル討論では静岡大防災総合センター牛山素行准教授ら専門家と愛知県内の自主防災会代表らが意見交換	(4/24静岡)
◆	しずおか防災コンソーシアムが「ふじのくに防災学講座」を開催 静岡大防災総合センター原田賢治准教授が「東日本大震災から1年を経て津波防災を考える」と題して講演	(4/22静岡)
●	震災遺児支援を訴えあしなが学生募金始まる 静岡大学生や高校生らが募金協力呼びかけ	(4/22静岡、朝日)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
◆	アバンセシステムは静岡大学と連携し安否確認情報システム「ANPIC」の販売開始 静岡大が開発した学内システムを企業や大学が簡単に使えるよう工夫	(4/20日経)
■	富士川河口断層は従来想定より10km以上長い40km M8級地震の可能性も 静岡大林愛明教授が調査結果まとめ	(4/20毎日、中日、日経)
◆	静岡国際交流フォーラムが静岡大で「アニメで日本語」講座 静岡大教職大学院矢崎満夫准教授と連携し、准教授考案のアニメを使った日本語教育を実践	(4/20静岡)
▲	病気に関する個人データの保護は極めて重要 職員の個人持ち出しは情報管理認識の甘さ 静岡大情報学部岡田安功教授	(4/19静岡)
▲	静岡市長と公募の市民が岩手県山田、大槌両町の被災がれきを視察 「帰ったら友人に正しい情報を広めたい」と参加した静岡大4年学生	(4/19静岡)
●	静岡大附属浜松中で卒業生の講演会 活躍する卒業生の経験から学ぼうという企画の1回目	(4/19中日)
▲	『響けとわに』(下)大正9年4月から10年3月には井上靖が在籍 いくつかの井上作品には当時の様子が描かれている 静岡大山崎保寿教授	(4/19中日)
▲	『響けとわに』(中)「卒業式の歌」の作曲者・浜松師範学校音楽教師の佐々木英は大正11年に音楽教師を辞し作曲家の道へ 「月の砂漠」などなじみ深い動揺を多く作曲 静岡大山崎保寿教授	(4/18中日)
▲	『響けとわに』(上)静岡大附属浜松小で90年余り歌い継がれている「卒業式の歌」にまつわるエピソードなどを、前校長の静岡大山崎保寿教授が紹介	(4/17中日)
●	静岡大農学部、大学院農学研究科の学生が川根本町の茶畑でヤブキタ植え替え作業を体験	(4/17静岡)
■	富士川河口断層帯単独でM8級の大規模地震の可能 静岡大林愛明教授が調査結果まとめ	(4/16静岡)
▲	新東名高速道を清水PAで「ふじのくににEV・PHVタウン構想」のPRイベント 世界初のインホイールモーターシステム搭載EV車の他、静岡大浜松キャンパスの学生が制作したレース用EV車などを展示	(4/15静岡)
●	中学新入生に地域の学習支援ボランティアが算数の補講を行う「数楽講座」 静大学生らが講義中学生の机を回り受講者の質問に対応	(4/15静岡)
◆	静岡県舞台芸術センターと静岡大が「就活リーディング・カフェ」を開催 戯曲を通じて学生とベンチャー企業経営者の交流 学生の人間性を知ってもらおうのが狙い	(4/13日経)
■	農林水産省が農山漁村活性化の先駆者24団体に選定書を授与 静岡大棚田研究会「もう一度千枚の棚田を～棚田で広がる農業・人・自然の輪～」が選定	(4/12中日)
●	地元小鹿商店街に学生を呼び込む「パンピナイズプロジェクト」を開始 静岡大入部学部の2年生が企画 商店街の活性化に加え地域住民と学生の関係づくりを目指す	(4/12静岡)
◆	静岡県中部市長、経済団体、大学、NPO法人代表らによる静岡中部地域経営会議が設立 設立総会に静岡大学長らが出席 県中部の課題を協議	(4/11静岡)
◆	しずおか防災コンソーシアムが津波防災をテーマに「ふじのくに防災学講座」 講師に静岡大防災総合センター原田賢治准教授	(4/11静岡)
■	平成24年度科学技術分野文部科学大臣表彰 科学技術賞・研究部門に田部道晴静岡大電子工学研究所教授、科学技術賞・理解増進部門に藤間信久静岡大工学部教授、鈴木晶子静岡大工学部学術研究員	(4/10静岡)
■	静岡大総合防災センターと帝京平成大が富士川河口断層帯の地下構造を調査 断層のデータを基に地震との関連を分析	(4/7静岡、読売)
◆	静岡大、県立大が浜松市のソフト開発会社と共同で安否情報システムを開発、製品化	(4/6読売)
▲	『時評』中国が経済的に成長しても命の重さを尊重できなければ、全人類と価値観を共有できない 楊海英静岡大教授	(4/5静岡)
●	静岡大入学式 6学部2044人、大学院640人が新たなスタート	(4/4静岡、中日)
◆	県不動産鑑定士協会が市民講演会「東日本大震災を起こした地震とその影響」開催 講師に静岡大防災総合センター副センター長小山真人教授	(4/2静岡)
◆	清水エスパルスと静岡大が連携協定を締結 地域貢献強化	(4/1読売)
▲	推計震度、津波高は優先順位をつけるための資料の一つ 津波避難場所、避難路の整備が急務 静岡大防災総合センター副センター長牛山素行准教授	(4/1静岡)
▲	『おもしろ農学』静岡大研究室から 風は森にさまざまな影響がある 孤立化が進行する熱帯雨林の風のインパクト解明に着手	(4/1静岡)
◆	静岡大と三島信用金庫が産学連携協定を締結 三島信金が企業との仲介役となり静岡大の技術などを地域経済活性化の活用	(4/1静岡)